

平成 26 年度血液製剤使用実態調査データ集

2015 年 3 月

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会

目 次

【1】輸血業務・血液製剤年間使用量基本調査

回答数(集計対象施設数)・回収率	05
1) 基本項目について(必須項目)	06
2) 医療機関の特長および管理体制について	08
3) 輸血療法委員会について(輸血管理料を含む)	15
4) 輸血検査実施状況について	21
5) 輸血前検体保管の状況について	33
6) 輸血後の検体保管状況について	34
7) 輸血前感染症検査の実施状況について	36
8) 輸血後感染症検査の実施状況について	39
9) 抗 HBs 人免疫グロブリン(HBIG)使用状況について	40
10) 輸血業務のシステム化について	44
11) 輸血安全対策について	45
12) 輸血副作用の報告体制について	46
13) 輸血製剤の適正使用について	48
14) 血液法及び薬機法(旧薬事法)、指針の改訂について	51
15) 輸血を実施した患者数について	53
16) 日赤血液製剤の使用実績について	54
【特別集計:全血製剤の使用総単位数と総袋(本)数】	56
【特別集計:全血製剤の廃棄総単位数と総袋(本)数】	56
【特別集計:赤血球製剤の使用総単位数と総袋(本)数】	61

【特別集計：赤血球製剤の廃棄総単位数と総袋(本)数】	62
【特別集計：血小板製剤の使用総単位数と総袋(本)数】	70
【特別集計：血小板製剤の外来使用総単位数と総袋(本)数】	71
【特別集計：血小板製剤の病棟使用総単位数と総袋(本)数】	71
【特別集計：血小板製剤の廃棄総単位数と総袋(本)数】	72
【特別集計：LR-1、LR-120 とLR-2、LR-240 を合算した使用総単位数と総袋(本)数】	75
【特別集計：LR-Ap(450)とLR-480 を合算した使用総単位数と総袋(本)数】	76
【特別集計：血漿製剤の使用総単位数と総袋(本)数】	76
【特別集計：LR-1、LR-120 とLR-2、LR-240 を合算した廃棄総単位数と総袋(本)数】	77
【特別集計：LR-Ap(450)とLR-480 を合算した廃棄総単位数と総袋(本)数】	77
【特別集計：血漿製剤の廃棄総単位数と総袋(本)数】	78
【特別集計：病床数あたりの日赤製剤使用量】	78
17) 血液照射について	79
18) FFP 融解後の使用期限について	81
19) 高カリウム血症の予防について	82
20) 外来輸血マニュアルについて	84
21) 病院外(介護施設・在宅)輸血について	86
22) 大量出血時の輸血について	88
23) 自己血製剤使用の実績について	90
【特別集計：貯血式自己血の使用総単位数と総袋(本)数】	92
【特別集計：貯血式自己血の廃棄総単位数と総袋(本)数】	93
【特別集計：病床数あたりの貯血式自己血製剤使用量】	93
【特別集計：希釈式自己血の使用総単位数と総袋(本)数】	100

24) 血漿分画製剤の使用実績について	101
【特別集計：病床数あたりの血漿分画製剤使用量】	107
25) 院内同種血採血について	108
26) 診療所での輸血の実態について(診療所のみ回答)	112

平成 26 年度血液製剤使用実態調査データ集

2015 年 03 月 31 日

回答数（集計対象数）

(1) アンケート依頼送付施設数	10802 施設
返却・辞退の施設数	76 施設
(2) アンケート対象施設数	10726 施設
輸血業務・血液製剤年間使用量調査回答施設	5434 施設（50.66%）
内訳	Web 3602 施設（66.29%） 手書き 1832 施設（33.71%）

病床数別回収率

番号	発送時の病床数	発送数	回収数	回収率
0	不明	779	259	33.25%
1	0 床	1851	585	31.60%
2	1 床～19 床	2012	891	44.28%
3	20 床～99 床	2937	1503	51.17%
4	100 床～199 床	1565	1009	64.47%
5	200 床～299 床	591	391	66.16%
6	300 床～399 床	468	316	67.52%
7	400 床～499 床	256	187	73.05%
8	500 床～599 床	134	109	81.34%
9	600 床～699 床	96	82	85.42%
10	700 床～799 床	42	38	90.48%
11	800 床～899 床	28	23	82.14%
12	900 床～999 床	18	17	94.44%
13	1000 床以上	25	24	96.00%
14	全体	10802(※1)	5434	50.31%(※2)

(※1) 返却・辞退の施設数も含んでいます。

(※2) 発送数に返却・辞退の施設数を含んでいるため、集計対象数の回収率とは若干異なります。

【1】 輸血業務・血液製剤年間使用量基本調査

1) 基本項目について(必須入力)

1-1. 病床数を記入して下さい(必須入力)

《全施設対象必須設問》

番号	項目	回答数	比率
1	0 床	677	12.46%
2	1 床～19 床	1004	18.48%
3	20 床～99 床	1517	27.92%
4	100 床～199 床	1035	19.05%
5	200 床～299 床	401	7.38%
6	300 床～399 床	315	5.80%
7	400 床～499 床	192	3.53%
8	500 床～599 床	112	2.06%
9	600 床～699 床	78	1.44%
10	700 床～799 床	39	0.72%
11	800 床～899 床	23	0.42%
12	900 床～999 床	17	0.31%
13	1000 床以上	24	0.44%
	回答施設合計	5434	

1-2. 貴院の病院の種類はどれに該当しますか(必須入力)

《全施設対象必須設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	大学病院	0	0.00%	24	0.61%	2	0.39%	82	27.99%	108	1.99%
2	大学病院の分院	1	0.15%	14	0.35%	15	2.96%	11	3.75%	41	0.75%
3	国立病院機構・医療センター	0	0.00%	32	0.81%	67	13.21%	19	6.48%	118	2.17%
4	公立・自治体病院	0	0.00%	394	9.96%	134	26.43%	75	25.60%	603	11.10%
5	社会保険関連病院	0	0.00%	23	0.58%	13	2.56%	4	1.37%	40	0.74%
6	医療法人関連病院	78	11.52%	1786	45.14%	153	30.18%	50	17.06%	2067	38.04%
7	個人病院	27	3.99%	422	10.66%	12	2.37%	2	0.68%	463	8.52%
8	診療所	554	81.83%	960	24.26%	0	0.00%	0	0.00%	1514	27.86%
9	その他	17	2.51%	302	7.63%	111	21.89%	50	17.06%	480	8.83%
	回答施設合計	677		3957		507		293		5434	

1-3. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、輸血用血液製剤(全血製剤、赤血球製剤、血小板製剤、新鮮凍結血漿)もしくは血漿分画製剤(アルブミン製剤、加熱人血漿蛋白、免疫グロブリン製剤)を使用しましたか(必須入力)

《全施設対象必須設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	両方とも使用した	91	13.44%	2519	63.66%	474	93.49%	284	96.93%	3368	61.98%
2	輸血用血液製剤のみ使用した	366	54.06%	1046	26.43%	21	4.14%	8	2.73%	1441	26.52%
3	血漿分画製剤のみ使用した	32	4.73%	52	1.31%	3	0.59%	0	0.00%	87	1.60%
4	両方とも使用しなかった	188	27.77%	340	8.59%	9	1.78%	1	0.34%	538	9.90%
	回答施設合計	677		3957		507		293		5434	

【特別集計】

1-4 からの設問は下記の施設が対象になります。

0 床	1～299 床	300～499 床	500 床以上	全体
489 施設	3617 施設	498 施設	292 施設	4896 施設

2) 医療機関の特長および管理体制について

1-4. 貴施設は DPC 取得病院ですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	558	15.95%	384	78.53%	268	92.10%	1210	25.55%
2	いいえ	440	96.28%	2820	80.62%	105	21.47%	20	6.87%	3385	71.49%
3	わからない	17	3.72%	120	3.43%	0	0.00%	3	1.03%	140	2.96%
	回答施設合計	457		3498		489		291		4735	

1-5. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に、全麻手術を行いましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	4	0.87%	1811	52.19%	434	90.23%	272	94.12%	2521	53.64%
2	いいえ	456	99.13%	1659	47.81%	47	9.77%	17	5.88%	2179	46.36%
	回答施設合計	460		3470		481		289		4700	

全麻手術件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床	4	1	41	20.25	81	21.19
1～299 床	1479	1	4481	298.89	442051	402.88
300～499 床	301	1	6050	1429.54	430292	896.22
500 床以上	199	79	11281	3701.24	736546	1681.78
全体	1983	1	11281	811.38	1608970	1272.38

1-6. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に、心臓手術を行いましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	128	3.65%	148	30.83%	233	80.90%	509	10.75%
2	いいえ	458	100.00%	3382	96.35%	332	69.17%	55	19.10%	4227	89.25%
	回答施設合計	458		3510		480		288		4736	

心臓手術件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	112	1	1198	107.46	12035	144.38
300～499床	111	1	1769	170.31	18904	233.61
500床以上	178	16	1948	261.49	46546	261.55
全体	401	1	1948	193.23	77485	235.25

1-7. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に、造血幹細胞移植を行いましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	21	0.60%	77	15.94%	192	66.90%	290	6.14%
2	いいえ	459	100.00%	3476	99.40%	406	84.06%	95	33.10%	4436	93.86%
	回答施設合計	459		3497		483		287		4726	

造血幹細胞移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	20	1	63	11.05	221	16.34
300～499床	60	1	63	9.60	576	13.11
500床以上	160	1	143	22.33	3572	23.14
全体	240	1	143	18.20	4369	21.31

1-8. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に、血漿交換を行いましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	6	1.33%	144	4.17%	226	47.38%	246	85.71%	622	13.32%
2	いいえ	445	98.67%	3309	95.83%	251	52.62%	41	14.29%	4046	86.68%
	回答施設合計	451		3453		477		287		4668	

造血幹細胞移植件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床	6	1	34	11.50	69	12.26
1～299床	128	1	250	11.86	1518	27.11
300～499床	182	1	417	10.15	1848	32.30
500床以上	206	1	563	47.86	9859	77.71
全体	522	1	563	25.47	13294	56.98

1-9. 輸血検査を行っている部門はどこですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	1	0.22%	84	2.42%	115	23.61%	180	61.86%	380	8.09%
2	検査部門	83	18.61%	2257	64.93%	354	72.69%	106	36.43%	2800	59.57%
3	薬剤部門	0	0.00%	21	0.60%	0	0.00%	0	0.00%	21	0.45%
4	輸血部門と薬剤部門	0	0.00%	6	0.17%	0	0.00%	0	0.00%	6	0.13%
5	検査部門と薬剤部門	1	0.22%	16	0.46%	1	0.21%	0	0.00%	18	0.38%
6	院外の検査機関に委託	303	67.94%	931	26.78%	13	2.67%	5	1.72%	1252	26.64%
7	その他	58	13.00%	161	4.63%	4	0.82%	0	0.00%	223	4.74%
	回答施設合計	446		3476		487		291		4700	

1-10. 輸血用血液製剤を管理している部門はどこですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	3	0.68%	97	2.80%	117	24.02%	182	62.54%	399	8.51%
2	検査部門	81	18.24%	1774	51.21%	319	65.50%	93	31.96%	2267	48.38%
3	薬剤部門	39	8.78%	633	18.27%	28	5.75%	9	3.09%	709	15.13%
4	輸血部門と薬剤部門	3	0.68%	46	1.33%	5	1.03%	5	1.72%	59	1.26%
5	検査部門と薬剤部門	9	2.03%	176	5.08%	18	3.70%	2	0.69%	205	4.37%
6	その他	309	69.59%	738	21.30%	0	0.00%	0	0.00%	1047	22.34%
	回答施設合計	444		3464		487		291		4686	

1-11. 輸血検査と輸血用血液製剤を一元管理していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	一元管理している	199	46.06%	2211	64.76%	434	90.23%	276	95.83%	3120	67.61%
2	一元管理できてない	233	53.94%	1203	35.24%	47	9.77%	12	4.17%	1495	32.39%
	回答施設合計	432		3414		481		288		4615	

1-12. 輸血責任医師(輸血業務担当や責任者として病院等から任命されている医師)はいますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	19	4.29%	79	2.28%	50	10.31%	112	38.49%	260	5.55%
2	いる(兼任)	132	29.80%	1705	49.22%	375	77.32%	168	57.73%	2380	50.82%
3	いない	292	65.91%	1680	48.50%	60	12.37%	11	3.78%	2043	43.63%
	回答施設合計	443		3464		485		291		4683	

1-13. 問 1-12 で(1)又は(2)の場合、輸血責任医師は、日本輸血・細胞治療学会認定医ですか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1	25.00%	24	2.65%	32	7.80%	114	40.86%	171	10.71%
2	いいえ	3	75.00%	880	97.35%	378	92.20%	165	59.14%	1426	89.29%
	回答施設合計	4		904		410		279		1597	

1-14. 貴施設に、学会認定 臨床輸血看護師はいますか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	37	2.89%	56	12.15%	101	35.44%	194	9.51%
2	いない	12	100.00%	1244	97.11%	405	87.85%	184	64.56%	1845	90.49%
	回答施設合計	12		1281		461		285		2039	

1-15. 貴施設に、学会認定 アフェレーシスナースはいますか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	3	0.23%	5	1.07%	32	11.27%	40	1.95%
2	いない	12	100.00%	1285	99.77%	461	98.93%	252	88.73%	2010	98.05%
	回答施設合計	12		1288		466		284		2050	

1-16. 貴施設に、学会認定 自己血輸血看護師はいますか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	33	2.54%	52	11.18%	78	27.66%	163	7.93%
2	いない	12	100.00%	1264	97.46%	413	88.82%	204	72.34%	1893	92.07%
	回答施設合計	12		1297		465		282		2056	

1-17. 貴施設に臨床検査技師はいますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	168	37.33%	2755	79.26%	478	98.35%	288	99.31%	3689	78.46%
2	いない	282	62.67%	721	20.74%	8	1.65%	2	0.69%	1013	21.54%
	回答施設合計	450		3476		486		290		4702	

1-18. 輸血検査業務全体を担当し責任を持つ臨床検査技師「輸血担当技師」はいますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる（専任）	2	1.22%	147	5.39%	231	48.84%	237	83.75%	617	16.92%
2	いる（兼任）	62	37.80%	1686	61.85%	207	43.76%	36	12.72%	1991	54.61%
3	いない	100	60.98%	893	32.76%	35	7.40%	10	3.53%	1038	28.47%
	回答施設合計	164		2726		473		283		3646	

1-19. 貴施設に認定輸血検査技師はいますか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	109	8.56%	211	45.18%	231	82.50%	551	27.14%
2	いない	9	100.00%	1165	91.44%	256	54.82%	49	17.50%	1479	72.86%
	回答施設合計	9		1274		467		280		2030	

1-20. アルブミン製剤(血漿タンパク製剤も含む)を管理している部門はどこですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	3	0.76%	29	0.87%	38	7.95%	79	27.53%	149	3.30%
2	検査部門	13	3.30%	144	4.30%	50	10.46%	29	10.10%	236	5.23%
3	薬剤部門	93	23.60%	2508	74.87%	339	70.92%	130	45.30%	3070	68.09%
4	輸血部門と薬剤部門	1	0.25%	18	0.54%	22	4.60%	30	10.45%	71	1.57%
5	検査部門と薬剤部門	0	0.00%	40	1.19%	29	6.07%	19	6.62%	88	1.95%
6	その他	284	72.08%	611	18.24%	0	0.00%	0	0.00%	895	19.85%
	回答施設合計	394		3350		478		287		4509	

1-21. 免疫グロブリン製剤を管理している部門はどこですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	3	0.82%	22	0.67%	5	1.04%	12	4.17%	42	0.95%
2	検査部門	13	3.56%	85	2.58%	8	1.67%	3	1.04%	109	2.46%
3	薬剤部門	87	23.84%	2574	78.02%	457	95.41%	264	91.67%	3382	76.33%
4	輸血部門と薬剤部門	1	0.27%	10	0.30%	5	1.04%	6	2.08%	22	0.50%
5	検査部門と薬剤部門	0	0.00%	23	0.70%	4	0.84%	3	1.04%	30	0.68%
6	その他	261	71.51%	585	17.73%	0	0.00%	0	0.00%	846	19.09%
	回答施設合計	365		3299		479		288		4431	

1-22. アルブミン製剤(血漿タンパク製剤も含む)の使用状況を輸血(検査)部門が把握していますか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	把握している	6	50.00%	807	63.29%	396	84.62%	264	93.95%	1473	72.35%
2	把握していない	6	50.00%	468	36.71%	72	15.38%	17	6.05%	563	27.65%
	回答施設合計	12		1275		468		281		2036	

1-23. . アルブミン製剤(血漿タンパク製剤も含む)の採用を決定している部門はどこですか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	1	9.09%	21	1.63%	6	1.27%	11	3.90%	39	1.90%
2	薬剤部門	3	27.27%	551	42.65%	186	39.41%	75	26.60%	815	39.62%
3	院内の薬剤委員会	3	27.27%	651	50.39%	268	56.78%	187	66.31%	1109	53.91%
4	経理部門	0	0.00%	1	0.08%	1	0.21%	2	0.71%	4	0.19%
5	その他	4	36.36%	68	5.26%	11	2.33%	7	2.48%	90	4.38%
	回答施設合計	11		1292		472		282		2057	

1-24. 輸血関連業務(血液製剤管理、血漿分画製剤管理など)担当の薬剤師は 複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血関連業務専任の薬剤師	0	0.00%	13	1.00%	5	1.06%	8	2.84%	26	1.26%
2	非常勤の薬剤師	0	0.00%	7	0.54%	1	0.21%	3	1.06%	11	0.53%
3	その他の薬剤業務と兼任の薬剤師	12	100.00%	1228	94.17%	433	91.93%	220	78.01%	1893	91.49%
4	薬剤師はいない	0	0.00%	65	4.98%	36	7.64%	58	20.57%	159	7.68%
	回答施設合計	12		1304		471		282		2069	

3) 輸血療法委員会について(輸血管理料を含む)

1-25. 輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	62	13.54%	2001	56.78%	468	95.32%	286	97.95%	2817	59.12%
2	いいえ	396	86.46%	1523	43.22%	23	4.68%	6	2.05%	1948	40.88%
	回答施設合計	458		3524		491		292		4765	

1-26. 輸血療法委員会の 2014 年(1 月～12 月)の年間開催回数は

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0 回	4	6.45%	57	2.86%	6	1.28%	1	0.35%	68	2.42%
2	1～5 回	37	59.68%	501	25.16%	28	5.98%	10	3.50%	576	20.52%
3	6 回	12	19.35%	891	44.75%	338	72.22%	223	77.97%	1464	52.16%
4	7 回以上	9	14.52%	542	27.22%	96	20.51%	52	18.18%	699	24.90%
	回答施設合計	62		1991		468		286		2807	

1-27. 委員の出席率は何%でしょうか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ 100%	34	56.67%	550	28.25%	30	6.56%	10	3.51%	624	22.70%
2	81～99%	15	25.00%	873	44.84%	187	40.92%	111	38.95%	1186	43.14%
3	61～80%	9	15.00%	408	20.96%	198	43.33%	147	51.58%	762	27.72%
4	41～60%	1	1.67%	86	4.42%	37	8.10%	14	4.91%	138	5.02%
5	21～40%	0	0.00%	13	0.67%	5	1.09%	3	1.05%	21	0.76%
6	0～20%	1	1.67%	17	0.87%	0	0.00%	0	0.00%	18	0.65%
	回答施設合計	60		1947		457		285		2749	

1-28. 輸血療法委員会で実施している項目は

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤（主に、赤血球製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤、血小板製剤）の使用状況について、診療科ごとに比較検討している。	3	50.00%	778	72.51%	376	82.28%	259	90.88%	1416	77.76%
2	毎月、診療科ごとの発注量、使用量、廃棄量等を各診療科の長に配布し、診療科内に掲示している。	0	0.00%	246	22.93%	108	23.63%	66	23.16%	420	23.06%
3	血液製剤ごとに、月次、年次の使用量の比較・分析を行うとともに、他医療機関と比較検討及び評価している。	1	16.67%	258	24.04%	184	40.26%	126	44.21%	569	31.25%
4	各診療科における各種指針の遵守状況について、検討するとともに、当該医療機関での解決が難しい場合、合同輸血療法委員会等に照会している。	0	0.00%	115	10.72%	81	17.72%	74	25.96%	270	14.83%
5	輸血実施症例の検討と使用指針に基づいた評価を行っている。	2	33.33%	351	32.71%	200	43.76%	140	49.12%	693	38.06%
6	必要に応じて、保険診療での査定状況も症例毎に検討している。	0	0.00%	223	20.78%	130	28.45%	109	38.25%	462	25.37%
7	輸血検査（血液型、不規則抗体、交差適合試験等）の方法について、輸血の安全性を高めるために適宜見直している。	2	33.33%	608	56.66%	285	62.36%	182	63.86%	1077	59.14%
8	輸血実施時の手順について、マニュアル通りに実施されているかどうかを院内で監査している。	3	50.00%	396	36.91%	173	37.86%	128	44.91%	700	38.44%
9	輸血療法に伴う事故・副作用等について、各部署毎の状況を把握して具体的対策を講じている。	2	33.33%	628	58.53%	309	67.61%	221	77.54%	1160	63.70%
10	輸血関連情報の伝達について、個々の医療従事者へ直接伝達する方法がある。	3	50.00%	549	51.16%	272	59.52%	200	70.18%	1024	56.23%
11	自己血輸血の実施方法について、成分採血やフィブリン糊の導入を検討したことがある。	0	0.00%	35	3.26%	36	7.88%	73	25.61%	144	7.91%
12	輸血療法委員会議事録の院内への周知について、特に医師に周知されたことを確認している。	1	16.67%	301	28.05%	126	27.57%	83	29.12%	511	28.06%
	回答施設合計	6		1073		457		285		1821	

1-29. 病院会議等への報告は

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	3	50.00%	825	76.89%	391	86.12%	265	93.31%	1484	81.67%
2	していない	3	50.00%	248	23.11%	63	13.88%	19	6.69%	333	18.33%
	回答施設合計	6		1073		454		284		1817	

1-30. 輸血療法委員会に血液製剤の供給元である日赤が参加していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	参加している	0	0.00%	61	5.56%	38	8.26%	44	15.38%	143	7.73%
2	参加していない	6	100.00%	1004	91.52%	406	88.26%	231	80.77%	1647	89.08%
3	今後参加を希望する	0	0.00%	32	2.92%	16	3.48%	11	3.85%	59	3.19%
	回答施設合計	6		1097		460		286		1849	

1-31. どういう内容での協力ですか

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	製剤に対する情報提供			74	83.15%	47	88.68%	50	90.91%	171	86.80%
2	指針の解説			34	38.20%	28	52.83%	22	40.00%	84	42.64%
	院内輸血体制の妥当性確認への協力			31	34.83%	27	50.94%	9	16.36%	67	34.01%
4	輸血療法委員会の運営に対する助言			24	26.97%	16	30.19%	9	16.36%	49	24.87%
5	血液センター職員による説明会			59	66.29%	30	56.60%	23	41.82%	112	56.85%
6	その他			9	10.11%	2	3.77%	7	12.73%	18	9.14%
	回答施設合計			89		53		55		197	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-31 その他詳細.xlsx を参照

1-32. どの程度の頻度ですか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	毎回			8	8.89%	12	22.64%	18	33.96%	38	19.39%
2	可能な限り			20	22.22%	18	33.96%	11	20.75%	49	25.00%
3	こちらが依頼した際			60	66.67%	22	41.51%	20	37.74%	102	52.04%
4	その他			2	2.22%	1	1.89%	4	7.55%	7	3.57%
	回答施設合計			90		53		53		196	

1-33. 輸血管管理料 I 又は II の取得の有無について

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血管管理料 I を取得している	7	1.65%	80	2.37%	178	36.70%	210	72.16%	475	10.38%
2	輸血管管理料 II を取得している	5	1.18%	917	27.19%	227	46.80%	56	19.24%	1205	26.34%
3	取得していない	413	97.18%	2376	70.44%	80	16.49%	25	8.59%	2894	63.27%
	回答施設合計	425		3373		485		291		4574	

1-34. 問 1-33 で「(3)取得していない」を選択した施設にお尋ねします。取得できない理由は

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会の開催回数をクリアできない	4	33.33%	219	37.76%	29	43.94%	6	28.57%	258	38.00%
2	専任（専従）の輸血責任医師が配置されていない	12	100.00%	455	78.45%	46	69.70%	12	57.14%	525	77.32%
3	専任（専従）の常勤臨床検査技師が配置されていない	10	83.33%	380	65.52%	34	51.52%	12	57.14%	436	64.21%
4	輸血製剤及びアルブミン製剤の一元管理がされていない	4	33.33%	297	51.21%	41	62.12%	10	47.62%	352	51.84%
5	指定された輸血関連検査が常時実施できる体制ではない	5	41.67%	173	29.83%	12	18.18%	6	28.57%	196	28.87%
6	輸血前後の感染症検査ができない	3	25.00%	84	14.48%	6	9.09%	2	9.52%	95	13.99%
7	輸血前後の検体保存ができない	3	25.00%	65	11.21%	2	3.03%	1	4.76%	71	10.46%
8	副作用監視体制ができない	1	8.33%	38	6.55%	2	3.03%	1	4.76%	42	6.19%
9	輸血療法の実施に関する指針及び血液製剤の使用指針が厳守できていない	1	8.33%	43	7.41%	0	0.00%	2	9.52%	46	6.77%
	回答施設合計	12		580		66		21		679	

1-35. 輸血適正使用加算の取得の有無について

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血適正使用加算を取得している	9	2.15%	720	21.69%	281	58.66%	171	58.97%	1181	26.20%
2	取得していない	410	97.85%	2599	78.31%	198	41.34%	119	41.03%	3326	73.80%
	回答施設合計	419		3331		479		290		4507	

1-36. 問 1-35 で「(2)取得していない」を選択した施設にお尋ねします。取得できない理由は

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	FFP/RBC の基準をクリアできない	1	12.50%	62	10.60%	46	27.22%	34	30.36%	143	16.36%
2	ALB/RBC の基準をクリアできない	1	12.50%	233	39.83%	67	39.64%	38	33.93%	339	38.79%
3	両方クリアできていない	6	75.00%	290	49.57%	56	33.14%	40	35.71%	392	44.85%
	回答施設合計	8		585		169		112		874	

1-37. 貯血式自己血輸血管理体制加算の取得の有無について

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取得している	0	0.00%	101	3.10%	55	12.14%	81	28.93%	237	5.38%
2	取得する予定	2	0.48%	97	2.98%	55	12.14%	49	17.50%	203	4.61%
3	取得する予定なし	416	99.52%	3058	93.92%	343	75.72%	150	53.57%	3967	90.02%
	回答施設合計	418		3256		453		280		4407	

4) 輸血検査実施状況について

1-38. 日常勤務時間帯の ABO 血液型検査の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	3	0.66%	136	3.84%	140	28.51%	195	66.78%	474	9.90%
2	検査部門の臨床検査技師	69	15.07%	2175	61.35%	358	72.91%	112	38.36%	2714	56.71%
3	院内の検査センター技師	3	0.66%	147	4.15%	23	4.68%	3	1.03%	176	3.68%
4	看護師	14	3.06%	108	3.05%	0	0.00%	0	0.00%	122	2.55%
5	担当医	32	6.99%	125	3.53%	0	0.00%	2	0.68%	159	3.32%
6	院外の検査機関に委託	372	81.22%	1431	40.37%	25	5.09%	9	3.08%	1837	38.38%
7	その他	7	1.53%	24	0.68%	1	0.20%	0	0.00%	32	0.67%
	回答施設合計	458		3545		491		292		4786	

1-39. 夜間・休日時間帯の ABO 血液型検査の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	103	2.91%	106	21.59%	168	57.73%	377	7.90%
2	検査部門の臨床検査技師	39	8.65%	1942	54.87%	446	90.84%	254	87.29%	2681	56.18%
3	院内の検査センター技師	2	0.44%	114	3.22%	28	5.70%	7	2.41%	151	3.16%
4	看護師	13	2.88%	126	3.56%	0	0.00%	0	0.00%	139	2.91%
5	担当医	25	5.54%	197	5.57%	2	0.41%	3	1.03%	227	4.76%
6	院外の検査機関に委託	210	46.56%	1039	29.36%	15	3.05%	9	3.09%	1273	26.68%
7	検査を実施していない	175	38.80%	448	12.66%	9	1.83%	2	0.69%	634	13.29%
8	その他	15	3.33%	54	1.53%	2	0.41%	1	0.34%	72	1.51%
	回答施設合計	451		3539		491		291		4772	

1-40. 日常勤務時間帯の RhD 血液型検査の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	1	0.22%	132	3.74%	140	28.51%	193	66.10%	466	9.77%
2	検査部門の臨床検査技師	66	14.51%	2156	61.01%	357	72.71%	112	38.36%	2691	56.39%
3	院内の検査センター技師	4	0.88%	147	4.16%	24	4.89%	4	1.37%	179	3.75%
4	看護師	8	1.76%	80	2.26%	0	0.00%	0	0.00%	88	1.84%
5	担当医	23	5.05%	98	2.77%	0	0.00%	1	0.34%	122	2.56%
6	院外の検査機関に委託	376	82.64%	1450	41.03%	25	5.09%	9	3.08%	1860	38.98%
7	その他	10	2.20%	27	0.76%	1	0.20%	0	0.00%	38	0.80%
	回答施設合計	455		3534		491		292		4772	

1-41. 夜間・休日時間帯の RhD 血液型検査の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	101	2.88%	106	21.59%	171	58.97%	378	7.97%
2	検査部門の臨床検査技師	37	8.22%	1924	54.78%	443	90.22%	248	85.52%	2652	55.91%
3	院内の検査センター技師	3	0.67%	108	3.08%	29	5.91%	7	2.41%	147	3.10%
4	看護師	9	2.00%	103	2.93%	0	0.00%	0	0.00%	112	2.36%
5	担当医	19	4.22%	148	4.21%	1	0.20%	1	0.34%	169	3.56%
6	院外の検査機関に委託	212	47.11%	1056	30.07%	16	3.26%	9	3.10%	1293	27.26%
7	検査を実施していない	177	39.33%	468	13.33%	8	1.63%	2	0.69%	655	13.81%
8	その他	20	4.44%	53	1.51%	2	0.41%	1	0.34%	76	1.60%
	回答施設合計	450		3512		491		290		4743	

1-42. 日常勤務時間帯の不規則抗体スクリーニング検査の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	1	0.23%	125	3.59%	141	28.89%	192	66.21%	459	9.76%
2	検査部門の臨床検査技師	24	5.41%	1365	39.24%	325	66.60%	100	34.48%	1814	38.59%
3	院内の検査センター技師	3	0.68%	74	2.13%	20	4.10%	2	0.69%	99	2.11%
4	看護師	5	1.13%	28	0.80%	0	0.00%	0	0.00%	33	0.70%
5	担当医	13	2.93%	36	1.03%	0	0.00%	0	0.00%	49	1.04%
6	院外の検査機関に委託	398	89.64%	1983	57.00%	41	8.40%	9	3.10%	2431	51.71%
7	その他	17	3.83%	80	2.30%	3	0.61%	0	0.00%	100	2.13%
	回答施設合計	444		3479		488		290		4701	

1-43. 夜間・休日時間帯の不規則抗体スクリーニング検査の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	92	2.65%	83	16.97%	132	45.36%	307	6.53%
2	検査部門の臨床検査技師	12	2.73%	1251	35.97%	352	71.98%	183	62.89%	1798	38.27%
3	院内の検査センター技師	2	0.45%	61	1.75%	21	4.29%	4	1.37%	88	1.87%
4	看護師	5	1.14%	30	0.86%	0	0.00%	0	0.00%	35	0.74%
5	担当医	11	2.50%	42	1.21%	0	0.00%	0	0.00%	53	1.13%
6	院外の検査機関に委託	229	52.05%	1408	40.48%	26	5.32%	9	3.09%	1672	35.59%
7	検査を実施していない	185	42.05%	765	22.00%	84	17.18%	69	23.71%	1103	23.48%
8	その他	13	2.95%	69	1.98%	6	1.23%	2	0.69%	90	1.92%
	回答施設合計	440		3478		489		291		4698	

1-44. 日常勤務時間帯の交差適合試験の実施者全てを回答してください

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	1	0.22%	129	3.67%	141	28.78%	194	66.67%	465	9.80%
2	検査部門の臨床検査技師	77	17.04%	2211	62.92%	356	72.65%	106	36.43%	2750	57.93%
3	院内の検査センター技師	5	1.11%	141	4.01%	21	4.29%	3	1.03%	170	3.58%
4	看護師	16	3.54%	110	3.13%	0	0.00%	0	0.00%	126	2.65%
5	担当医	52	11.50%	176	5.01%	0	0.00%	0	0.00%	228	4.80%
6	院外の検査機関に委託	320	70.80%	1025	29.17%	15	3.06%	5	1.72%	1365	28.76%
7	その他	16	3.54%	39	1.11%	1	0.20%	0	0.00%	56	1.18%
	回答施設合計	452		3514		490		291		4701	

1-45. 夜間・休日時間帯の交差適合試験の実施者全てを回答してください 複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	106	3.01%	107	21.79%	172	59.11%	385	8.12%
2	検査部門の臨床検査技師	43	9.75%	2025	57.53%	442	90.02%	251	86.25%	2761	58.21%
3	院内の検査センター技師	3	0.68%	109	3.10%	26	5.30%	6	2.06%	144	3.04%
4	看護師	9	2.04%	118	3.35%	0	0.00%	0	0.00%	127	2.68%
5	担当医	41	9.30%	205	5.82%	0	0.00%	0	0.00%	246	5.19%
6	院外の検査機関に委託	189	42.86%	870	24.72%	13	2.65%	7	2.41%	1079	22.75%
7	検査を実施していない	172	39.00%	412	11.70%	10	2.04%	3	1.03%	597	12.59%
8	その他	18	4.08%	55	1.56%	2	0.41%	2	0.69%	77	1.62%
	回答施設合計	441		3520		491		291		4743	

1-46. 血液型検査で行っている主な検査方法は

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	6	60.00%	982	75.42%	178	37.47%	24	8.36%	1190	57.38%
2	カラム凝集法	3	30.00%	257	19.74%	274	57.68%	252	87.80%	786	37.90%
3	マイクロプレート法	0	0.00%	34	2.61%	21	4.42%	10	3.48%	65	3.13%
4	その他	1	10.00%	29	2.23%	2	0.42%	1	0.35%	33	1.59%
	回答施設合計	10		1302		475		287		2074	

1-47. 血液型検査で行っている検査内容は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	抗 A、抗 B 試薬によるオモテ検査	337	95.47%	3201	98.31%	484	100.00%	291	100.00%	4313	98.38%
2	A 血球、B 血球によるウラ検査	263	74.50%	2795	85.84%	476	98.35%	290	99.66%	3824	87.23%
3	抗 D 血清を用いた D 抗原検査	258	73.09%	2961	90.94%	479	98.97%	291	100.00%	3989	90.99%
	回答施設合計	353		3256		484		291		4384	

1-48. 血液型検査の二重チェックを同一患者の異なる時点での 2 検体で行い、同一検体については異なる 2 人の検査者がそれぞれに検査していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則、同一患者の異なる時点での 2 検体で実施し、同一検体については 2 人の検査者がそれぞれに検査している（日勤帯・夜勤帯両方）	0	0.00%	150	11.68%	96	20.38%	87	30.31%	333	16.24%
2	原則、同一患者の異なる時点での 2 検体で実施し、同一検体については 2 人の検査者がそれぞれに検査している（日勤帯のみ）	0	0.00%	281	21.88%	90	19.11%	45	15.68%	416	20.28%
3	原則、同一患者の異なる時点での 2 検体で実施し、同一検体については実施していない（日勤帯・夜勤帯両方）	1	11.11%	197	15.34%	155	32.91%	118	41.11%	471	22.96%
4	原則、同一患者の異なる時点での 2 検体で実施し、同一検体については実施していない（日勤帯のみ）	2	22.22%	55	4.28%	21	4.46%	12	4.18%	90	4.39%
5	原則、同一患者の異なる時点での 2 検体では実施せず、同一検体については 2 人の検査者がそれぞれに検査している（日勤帯・夜勤帯両方）	2	22.22%	147	11.45%	46	9.77%	11	3.83%	206	10.04%
6	原則、同一患者の異なる時点での 2 検体では実施せず、同一検体については 2 人の検査者がそれぞれに検査している（日勤帯のみ）	1	11.11%	269	20.95%	37	7.86%	4	1.39%	311	15.16%
7	どちらも実施していない	3	33.33%	185	14.41%	26	5.52%	10	3.48%	224	10.92%
	回答施設合計	9		1284		471		287		2051	

1-49. 血液型を確定する際に主治医による判定を採用していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	1	9.09%	31	2.37%	1	0.21%	3	1.04%	36	1.73%
2	一部使用している	2	18.18%	74	5.66%	14	2.95%	10	3.47%	100	4.80%
3	使用していない	8	72.73%	1203	91.97%	460	96.84%	275	95.49%	1946	93.47%
	回答施設合計	11		1308		475		288		2082	

1-50. 不規則抗体スクリーニング検査で行っている主な検査方法は

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	2	22.22%	635	52.96%	126	27.10%	26	9.09%	789	40.28%
2	カラム凝集法	6	66.67%	501	41.78%	317	68.17%	253	88.46%	1077	54.98%
3	固相法	0	0.00%	21	1.75%	20	4.30%	7	2.45%	48	2.45%
4	その他	1	11.11%	42	3.50%	2	0.43%	0	0.00%	45	2.30%
	回答施設合計	9		1199		465		286		1957	

1-51. 不規則抗体スクリーニング検査で行っている検査内容は 複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	生理食塩液法	122	41.22%	1551	54.42%	150	31.65%	46	16.03%	1869	47.84%
2	酵素法	155	52.36%	1689	59.26%	344	72.57%	223	77.70%	2411	61.71%
3	間接抗グロブリン法	167	56.42%	2296	80.56%	461	97.26%	286	99.65%	3210	82.16%
4	その他	83	28.04%	415	14.56%	11	2.32%	6	2.09%	515	13.18%
	回答施設合計	296		2850		474		287		3907	

1-52. 交差適合試験で行っている主な検査方法は

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	7	87.50%	944	73.29%	224	47.76%	156	54.36%	1331	64.86%
2	カラム凝集法	1	12.50%	328	25.47%	230	49.04%	126	43.90%	685	33.38%
3	固相法	0	0.00%	8	0.62%	12	2.56%	4	1.39%	24	1.17%
4	その他	0	0.00%	8	0.62%	3	0.64%	1	0.35%	12	0.58%
	回答施設合計	8		1288		469		287		2052	

1-53. 交差適合試験で行っている検査内容は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	生理食塩液法	224	68.71%	2463	76.44%	251	51.86%	158	54.67%	3096	71.65%
2	酵素法	143	43.87%	1510	46.87%	135	27.89%	69	23.88%	1857	42.98%
3	間接抗グロブリン法	198	60.74%	2706	83.99%	474	97.93%	283	97.92%	3661	84.73%
4	その他	84	25.77%	382	11.86%	14	2.89%	9	3.11%	489	11.32%
	回答施設合計	326		3222		484		289		4321	

1-54. 過去1年間 2014年(1月～12月)に臨床検査技師以外の職員が交差適合試験を行って、赤血球輸血を施行した症例はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	35	7.97%	179	5.15%	2	0.41%	0	0.00%	216	4.60%
2	ない	396	90.21%	3264	93.98%	486	99.39%	291	100.00%	4437	94.57%
3	不明	8	1.82%	30	0.86%	1	0.20%	0	0.00%	39	0.83%
	回答施設合計	439		3473		489		291		4692	

1-55. 緊急輸血時にはO型RCC-LRまたは、O型RBC-LRを、交差適合試験を省略して使用していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	4	0.96%	152	4.41%	226	46.79%	234	80.97%	616	13.29%
2	使用していない	398	95.22%	2438	70.79%	74	15.32%	19	6.57%	2929	63.21%
3	未だ使用していないが、マニュアルで使用を明記	16	3.83%	854	24.80%	183	37.89%	36	12.46%	1089	23.50%
	回答施設合計	418		3444		483		289		4634	

1-56. ABO 血液型、RhD 血液、不規則抗体スクリーニングを事前に行い、臨床的に問題となる抗体が検出されない場合に、コンピュータークロスマッチを実施していますか 《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	すべての症例で実施している	0	0.00%	31	2.39%	34	7.17%	43	15.09%	108	5.22%
2	T & S (type and screen) 症例のみ実施している	1	10.00%	63	4.85%	79	16.67%	61	21.40%	204	9.86%
3	手術時の追加依頼の場合に実施している	0	0.00%	23	1.77%	13	2.74%	8	2.81%	44	2.13%
4	実施していない	8	80.00%	1163	89.53%	332	70.04%	159	55.79%	1662	80.37%
5	その他	1	10.00%	19	1.46%	16	3.38%	14	4.91%	50	2.42%
	回答施設合計	10		1299		474		285		2068	

1-57. 輸血検査に自動輸血検査機器を利用していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	1	9.09%	168	12.75%	285	59.87%	263	91.32%	717	34.26%
2	利用していない	10	90.91%	1118	84.83%	168	35.29%	19	6.60%	1315	62.83%
3	導入を予定している	0	0.00%	32	2.43%	23	4.83%	6	2.08%	61	2.91%
	回答施設合計	11		1318		476		288		2093	

1-58. 自動輸血検査機器を用いて行っていることは **複数回答**

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ABO 血液型	1	100.00%	159	94.64%	283	99.30%	262	100.00%	705	98.46%
2	RhD 血液型	1	100.00%	156	92.86%	280	98.25%	256	97.71%	693	96.79%
3	不規則抗体スクリーニング	1	100.00%	159	94.64%	280	98.25%	259	98.85%	699	97.63%
4	不規則抗体同定	1	100.00%	46	27.38%	100	35.09%	84	32.06%	231	32.26%
5	直接抗グロブリン試験	1	100.00%	62	36.90%	121	42.46%	87	33.21%	271	37.85%
6	交差適合試験	1	100.00%	142	84.52%	224	78.60%	146	55.73%	513	71.65%
7	赤血球製剤の血液型	0	0.00%	11	6.55%	24	8.42%	20	7.63%	55	7.68%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	9	3.16%	13	4.96%	22	3.07%
	回答施設合計	1		168		285		262		716	

1-59. 自動輸血検査機器の使用で問題となることは 複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1 検体当たりのコストが高い			112	66.67%	203	71.48%	194	74.33%	509	71.39%
2	ランニングコストが高い			99	58.93%	180	63.38%	171	65.52%	450	63.11%
3	故障した時のバックアップが不十分			40	23.81%	81	28.52%	83	31.80%	204	28.61%
4	機器が大きくて場所をとってしまう			38	22.62%	61	21.48%	72	27.59%	171	23.98%
5	特に問題はない			22	13.10%	33	11.62%	20	7.66%	75	10.52%
6	その他			12	7.14%	27	9.51%	29	11.11%	68	9.54%
	回答施設合計			168		284		261		713	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-59 その他詳細.xlsx を参照

1-60. 現在、自動輸血検査機器を利用していない理由は何ですか 複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血検査件数が少ない	6	100.00%	499	74.48%	72	57.60%	9	60.00%	586	71.81%
2	自動輸血検査機器が高価である	2	33.33%	430	64.18%	99	79.20%	10	66.67%	541	66.30%
3	ランニングコストが高い	1	16.67%	363	54.18%	70	56.00%	7	46.67%	441	54.04%
4	導入しても収入は赤字になる	1	16.67%	281	41.94%	46	36.80%	5	33.33%	333	40.81%
5	輸血検査の保険点数が低い	0	0.00%	118	17.61%	28	22.40%	0	0.00%	146	17.89%
6	自動輸血検査機器を設置する場所がない	1	16.67%	194	28.96%	26	20.80%	1	6.67%	222	27.21%
7	その他	0	0.00%	24	3.58%	11	8.80%	2	13.33%	37	4.53%
	回答施設合計	6		670		125		15		816	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-60 その他詳細.xlsx を参照

1-61. 輸血検査の外部精度管理調査に参加していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	参加している	2	22.22%	848	64.93%	415	87.74%	275	96.49%	1540	74.29%
2	参加していない	6	66.67%	437	33.46%	55	11.63%	10	3.51%	508	24.51%
3	参加を予定している	1	11.11%	21	1.61%	3	0.63%	0	0.00%	25	1.21%
	回答施設合計	9		1306		473		285		2073	

1-62. ABO 血液型、RhD 血液型、不規則抗体スクリーニング検査、交差適合試験以外で血液センター、検査センター等へ依頼したことのある検査項目はありますか

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	不規則抗体同定	4	80.00%	969	86.75%	325	78.88%	209	76.56%	1507	83.40%
2	HLA 抗体	0	0.00%	170	15.22%	212	51.46%	237	86.81%	619	34.26%
3	血小板抗体	0	0.00%	217	19.43%	184	44.66%	207	75.82%	608	33.65%
4	HLA typing	0	0.00%	111	9.94%	170	41.26%	178	65.20%	459	25.40%
5	血液型亜型の精査	0	0.00%	505	45.21%	217	52.67%	149	54.58%	871	48.20%
6	細菌培養	1	20.00%	85	7.61%	9	2.18%	8	2.93%	103	5.70%
7	その他	1	20.00%	55	4.92%	7	1.70%	14	5.13%	77	4.26%
	回答施設合計	5		1117		412		273		1807	

1-63. 造血幹細胞の表面マーカーである CD34 陽性細胞数測定を実施していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	実施している	0	0.00%	56	5.03%	77	18.29%	178	65.93%	311	17.16%
2	実施していない	8	100.00%	1057	94.97%	344	81.71%	92	34.07%	1501	82.84%
	回答施設合計	8		1113		421		270		1812	

1-64. CD34 陽性細胞数測定はどこで実施していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自施設内			9	15.00%	29	34.94%	139	75.96%	177	54.29%
2	外部検査業者			49	81.67%	50	60.24%	42	22.95%	141	43.25%
3	近隣の提携病院			2	3.33%	4	4.82%	2	1.09%	8	2.45%
4	その他			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計			60		83		183		326	

1-65. CD34 陽性細胞数測定でサンプル調整は何を用いていますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	シングル・プラットフォーム法（ビーズ法）を用いたキット製品を使用			10	24.39%	23	44.23%	108	67.92%	141	55.95%
2	シングル・プラットフォーム法（ビーズ法）の試薬を使用外部検査業者			25	60.98%	25	48.08%	19	11.95%	69	27.38%
3	デュアル・プラットフォーム法			2	4.88%	1	1.92%	17	10.69%	20	7.94%
4	その他			4	9.76%	3	5.77%	15	9.43%	22	8.73%
	回答施設合計			41		52		159		252	

1-66. CD34 陽性細胞数測定で測定・解析は何を用いていますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自動測定・解析プログラム			26	61.90%	30	58.82%	100	64.10%	156	62.65%
2	施設で ISHAGE 法に基づき独自に作成した測定・解析方法			11	26.19%	15	29.41%	37	23.72%	63	25.30%
3	施設で独自に作成した測定・解析方法（非 ISHAGE 法）			1	2.38%	3	5.88%	14	8.97%	18	7.23%
4	その他			4	9.52%	3	5.88%	5	3.21%	12	4.82%
	回答施設合計			42		51		156		249	

5) 輸血前検体保管の状況について

1-67. 輸血前検体の保存について、貴施設の実情に一番近いものは

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	77	17.66%	1990	56.66%	459	94.06%	281	96.56%	2807	59.38%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	61	13.99%	380	10.82%	12	2.46%	4	1.37%	457	9.67%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	73	16.74%	296	8.43%	3	0.61%	1	0.34%	373	7.89%
4	保存していない	225	51.61%	846	24.09%	14	2.87%	5	1.72%	1090	23.06%
	回答施設合計	436		3512		488		291		4727	

1-68. 問 1-67 で(1)又は(2)の場合、検体保存期間は

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0～5.9 ヶ月	2	22.22%	88	7.31%	10	2.16%	2	0.70%	102	5.20%
2	6.0 ヶ月	0	0.00%	33	2.74%	3	0.65%	2	0.70%	38	1.94%
3	6.1～11.9 ヶ月	0	0.00%	13	1.08%	1	0.22%	2	0.70%	16	0.82%
4	12 ヶ月	1	11.11%	68	5.65%	11	2.37%	4	1.41%	84	4.28%
5	12.1～23.9 ヶ月	0	0.00%	34	2.82%	14	3.02%	8	2.82%	56	2.86%
6	24.0 ヶ月	3	33.33%	494	41.03%	216	46.55%	157	55.28%	870	44.37%
7	24.1～35.9 ヶ月	1	11.11%	95	7.89%	72	15.52%	52	18.31%	220	11.22%
8	36.0 ヶ月	0	0.00%	53	4.40%	23	4.96%	14	4.93%	90	4.59%
9	36.1 ヶ月以上（永久保存を除く）	2	22.22%	271	22.51%	102	21.98%	41	14.44%	416	21.21%
10	永久保存	0	0.00%	55	4.57%	12	2.59%	2	0.70%	69	3.52%
	回答施設合計	9		1204		464		284		1961	

1-69. 問 1-67 で(1)又は(2)の場合、輸血前検体保存の方法について貴施設の実情に一番近いものは

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査や交差適合試験の残りをそのまま保存している	6	75.00%	733	61.75%	186	40.43%	89	31.67%	1014	52.38%
2	血液型検査や交差適合試験の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	2	25.00%	211	17.78%	128	27.83%	74	26.33%	415	21.44%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	0	0.00%	165	13.90%	107	23.26%	94	33.45%	366	18.90%
4	その他	0	0.00%	78	6.57%	39	8.48%	24	8.54%	141	7.28%
	回答施設合計	8		1187		460		281		1936	

6) 輸血後の検体保管状況について

1-70. 輸血後検体の保存について、貴施設の実情に一番近いものは

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	36	8.57%	459	13.24%	70	14.34%	47	16.55%	612	13.14%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	31	7.38%	252	7.27%	26	5.33%	23	8.10%	332	7.13%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	88	20.95%	824	23.77%	133	27.25%	78	27.46%	1123	24.11%
4	保存していない	265	63.10%	1931	55.71%	259	53.07%	136	47.89%	2591	55.62%
	回答施設合計	420		3466		488		279		4658	

1-71. 問 1-70 で(1)又は(2)の場合、検体保存期間は

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0～5.9 ヶ月	0	0.00%	89	31.34%	21	22.83%	20	28.99%	130	29.08%
2	6.0 ヶ月	0	0.00%	13	4.58%	2	2.17%	1	1.45%	16	3.58%
3	6.1～11.9 ヶ月	0	0.00%	3	1.06%	3	3.26%	4	5.80%	6	1.34%
4	12 ヶ月	0	0.00%	13	4.58%	7	7.61%	1	1.45%	24	5.37%
5	12.1～24.9	0	0.00%	3	1.06%	2	2.17%	27	39.13%	6	1.34%
6	24.0 ヶ月	1	50.00%	77	27.11%	23	25.00%	4	5.80%	128	28.64%
7	24.1～35.9 ヶ月	0	0.00%	10	3.52%	11	11.96%	3	4.35%	25	5.59%
8	36.0 ヶ月	0	0.00%	17	5.99%	4	4.35%	8	11.59%	24	5.37%
9	36.1 ヶ月以上（永久保存を除く）	1	50.00%	45	15.85%	15	16.30%	1	1.45%	69	15.44%
10	永久保存	0	0.00%	14	4.93%	4	4.35%	20	28.99%	19	4.25%
	回答施設合計	2		284		92		69		447	

1-72. 問 1-70 で(1)又は(2)の場合、輸血後検体保存の方法について貴施設の実情に一番近いものは

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	検査の残りをそのまま保存している	1	50.00%	223	78.80%	53	58.24%	37	53.62%	314	70.56%
2	検査の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	1	50.00%	26	9.19%	17	18.68%	8	11.59%	52	11.69%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	0	0.00%	21	7.42%	13	14.29%	15	21.74%	49	11.01%
4	その他	0	0.00%	13	4.59%	8	8.79%	9	13.04%	30	6.74%
	回答施設合計	2		283		91		69		445	

7) 輸血前感染症検査の実施状況について

1-73. 輸血前に、輸血前後感染症検査等、行うことを説明し、同意を得ていますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	書面を用いて説明し、同意書を得ている	250	56.56%	2204	63.55%	382	78.44%	249	85.57%	3085	65.81%
2	書面を用いて説明し、口頭による同意を得ている	16	3.62%	91	2.62%	22	4.52%	10	3.44%	139	2.97%
3	口頭で説明し、同意書を得ている	23	5.20%	131	3.78%	1	0.21%	1	0.34%	156	3.33%
4	口頭で説明し、口頭による同意を得ている	42	9.50%	133	3.84%	5	1.03%	0	0.00%	180	3.84%
5	主治医に任せているのでわからない	12	2.71%	375	10.81%	49	10.06%	20	6.87%	456	9.73%
6	説明や同意はとっていない	32	7.24%	136	3.92%	5	1.03%	4	1.37%	177	3.78%
7	輸血前後感染症検査等を実施していない	49	11.09%	327	9.43%	18	3.70%	4	1.37%	398	8.49%
8	その他	18	4.07%	71	2.05%	5	1.03%	3	1.03%	97	2.07%
	回答施設合計	442		3468		487		291		4688	

1-74. 輸血前に、輸血(特定生物由来製品)による感染等被害救済制度について説明していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	書面を用いて説明している	159	36.72%	1531	44.58%	324	66.94%	232	79.73%	2246	48.38%
2	口頭で説明している	77	17.78%	221	6.44%	14	2.89%	4	1.37%	316	6.81%
3	主治医に任せているのでわからない	52	12.01%	991	28.86%	121	25.00%	43	14.78%	1207	26.00%
4	説明していない	138	31.87%	654	19.04%	22	4.55%	11	3.78%	825	17.77%
5	その他	7	1.62%	37	1.08%	3	0.62%	1	0.34%	48	1.03%
	回答施設合計	433		3434		484		291		4642	

1-75. 輸血前に感染症マーカーの検査(輸血前感染症検査)を行っていますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検査として、原則として全ての症例で行っている	107	24.15%	918	26.33%	133	27.25%	78	26.71%	1236	26.24%
2	輸血前検査として、症例によって行っている	50	11.29%	180	5.16%	30	6.15%	21	7.19%	281	5.97%
3	入院時検査や術前検査と合わせて行っている	148	33.41%	1864	53.46%	283	57.99%	164	56.16%	2459	52.21%
4	行っていない	138	31.15%	525	15.06%	42	8.61%	29	9.93%	734	15.58%
	回答施設合計	443		3487		488		292		4710	

1-76. 問 1-75 で「(4)行っていない」の場合、理由はなんですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検体保存を行っているため	7	5.56%	139	28.66%	32	80.00%	23	82.14%	201	29.60%
2	保険で査定されるため	16	12.70%	46	9.48%	3	7.50%	4	14.29%	69	10.16%
3	行う意味がないため	22	17.46%	31	6.39%	0	0.00%	0	0.00%	53	7.81%
4	その他	81	64.29%	269	55.46%	5	12.50%	1	3.57%	356	52.43%
	回答施設合計	126		485		40		28		679	

1-77. 問 1-75 で「(1)、(2)、(3)、のを行っている」の場合、貴施設で輸血前に実施している感染症検査の項目は 複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原(*)	289	97.97%	2839	97.80%	437	98.65%	258	98.85%	3823	97.98%
2	HBs 抗体(*)	168	56.95%	966	33.28%	204	46.05%	145	55.56%	1483	38.01%
3	HBc 抗体(*)	64	21.69%	605	20.84%	150	33.86%	121	46.36%	940	24.09%
4	HBe 抗原	22	7.46%	57	1.96%	2	0.45%	2	0.77%	83	2.13%
5	HBe 抗体	13	4.41%	38	1.31%	1	0.23%	1	0.38%	53	1.36%
6	HBV-DNA 核酸増幅検査	4	1.36%	18	0.62%	6	1.35%	3	1.15%	31	0.79%
7	HCV 抗体(*)	275	93.22%	2791	96.14%	437	98.65%	257	98.47%	3760	96.36%
8	HCV コア抗原(*)	34	11.53%	504	17.36%	122	27.54%	104	39.85%	764	19.58%
9	HCV-RNA 核酸増幅検査	13	4.41%	27	0.93%	0	0.00%	0	0.00%	40	1.03%
10	HIV 抗体(*)	56	18.98%	589	20.29%	143	32.28%	141	54.02%	929	23.81%
11	HIV 抗原/HIV 抗体同時測定	21	7.12%	439	15.12%	134	30.25%	62	23.75%	656	16.81%
	回答施設合計	295		2903		443		261		3902	

(*)厚生労働省の推奨する検査項目

1-78. 問 1-75 で「(1)、(2)、(3)、のを行っている」の場合、輸血前感染症検査の保険請求について(過去 1 年間の実績で教えてください)

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険請求している。今まで査定はない。	1	12.50%	568	50.99%	198	48.53%	121	49.59%	888	50.06%
2	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求していない。	0	0.00%	53	4.76%	30	7.35%	14	5.74%	97	5.47%
3	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求し復活した。	0	0.00%	31	2.78%	11	2.70%	12	4.92%	54	3.04%
4	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求したが復活していない。	0	0.00%	24	2.15%	9	2.21%	6	2.46%	39	2.20%
5	輸血前感染症検査としては、保険請求していない。	6	75.00%	407	36.54%	144	35.29%	78	31.97%	635	35.79%
6	その他	1	12.50%	31	2.78%	16	3.92%	13	5.33%	61	3.44%
	回答施設合計	8		1114		408		244		1774	

8) 輸血後感染症検査の実施状況について

1-79. 輸血後に感染症マーカーの検査(輸血後感染症検査)を行っていますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則として全ての症例で行っている	122	27.66%	1009	29.02%	172	35.46%	112	38.62%	1415	30.15%
2	症例によって行っている	99	22.45%	831	23.90%	223	45.98%	151	52.07%	1304	27.79%
3	行っていない	220	49.89%	1637	47.08%	90	18.56%	27	9.31%	1974	42.06%
	回答施設合計	441		3477		485		290		4693	

1-80. 貴施設で輸血後に実施している感染症検査の項目は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	165	77.10%	847	47.13%	110	27.99%	78	29.77%	1200	45.01%
2	HBs 抗体	76	35.51%	224	12.47%	36	9.16%	21	8.02%	357	13.39%
3	HBc 抗体	25	11.68%	105	5.84%	17	4.33%	17	6.49%	164	6.15%
4	HBe 抗原	17	7.94%	42	2.34%	4	1.02%	3	1.15%	66	2.48%
5	HBe 抗体	10	4.67%	31	1.73%	2	0.51%	2	0.76%	45	1.69%
6	HBV-DNA 核酸増幅検査(*)	40	18.69%	936	52.09%	298	75.83%	199	75.95%	1473	55.25%
7	HCV 抗体	152	71.03%	800	44.52%	108	27.48%	70	26.72%	1130	42.39%
8	HCV コア抗原(*)	49	22.90%	974	54.20%	299	76.08%	205	78.24%	1527	57.28%
9	HCV-RNA 核酸増幅検査	12	5.61%	52	2.89%	6	1.53%	8	3.05%	78	2.93%
10	HIV 抗体(*)	56	26.17%	695	38.68%	196	49.87%	175	66.79%	1122	42.09%
11	HIV 抗原/HIV 抗体同時測定	35	16.36%	570	31.72%	160	40.71%	76	29.01%	841	31.55%
	回答施設合計	214		1797		393		262		2666	

(*)厚生労働省の推奨する検査項目

1-81. 輸血後感染症検査の保険請求について(過去 1 年間の実績で教えてください)

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険請求している。今まで査定はない。	0	0.00%	550	68.75%	254	71.15%	170	69.67%	974	69.47%
2	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求していない。	0	0.00%	51	6.38%	31	8.68%	24	9.84%	106	7.56%
3	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求し復活した。	0	0.00%	46	5.75%	20	5.60%	13	5.33%	79	5.63%
4	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求したが復活していない。	0	0.00%	26	3.25%	13	3.64%	5	2.05%	44	3.14%
5	保険請求していない。	1	100.00%	69	8.63%	15	4.20%	12	4.92%	97	6.92%
6	その他	0	0.00%	58	7.25%	24	6.72%	20	8.20%	102	7.28%
	回答施設合計	1		800		357		244		1402	

9) 抗 HBs 人免疫グロブリン(HBIG)使用状況について

1-82. 抗 HBs 人免疫グロブリン(HBIG)を管理している部門はどこですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	3	0.84%	15	0.46%	5	1.07%	11	3.85%	34	0.78%
2	検査部門	9	2.53%	77	2.35%	4	0.86%	4	1.40%	94	2.15%
3	薬剤部門	89	25.00%	2565	78.39%	452	97.00%	265	92.66%	3371	76.96%
4	輸血部門と薬剤部門	1	0.28%	8	0.24%	1	0.21%	3	1.05%	13	0.30%
5	検査部門と薬剤部門	0	0.00%	14	0.43%	3	0.64%	2	0.70%	19	0.43%
6	院内感染対策部門	3	0.84%	17	0.52%	1	0.21%	0	0.00%	21	0.48%
7	その他	251	70.51%	576	17.60%	0	0.00%	1	0.35%	828	18.90%
	回答施設合計	356		3272		466		286		4380	

1-83. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、抗 HBs 人免疫グロブリン(HBIG)を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	21	4.93%	614	18.17%	226	53.68%	199	83.61%	1060	23.75%
2	いいえ	405	95.07%	2765	81.83%	195	46.32%	39	16.39%	3404	76.25%
	回答施設合計	426		3379		421		238		4464	

1-84. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に新生児の母子間の HBV 感染予防のために HBIG を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	10.00%	218	36.39%	141	66.82%	151	86.78%	512	51.00%
2	いいえ	18	90.00%	381	63.61%	70	33.18%	23	13.22%	492	49.00%
	回答施設合計	20		599		211		174		1004	

新生児の母子間の HBV 感染予防のために HBIG を使用件数 (件)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床						
1～299 床	199	1	15	2.50	497	1.98
300～499 床	134	1	41	3.22	432	4.05
500 床以上	144	1	22	4.03	581	3.17
全体	477	1	41	3.17	1510	3.11

1-85. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に新生児の母子間の HBV 感染予防のために使用した HBIG 量は

《全施設対象設問》

新生児の母子間の HBV 感染予防のために使用した HBIG 量筋注 200 単位製剤 (本)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床						
1～299 床	196	1	15	2.64	517	2.20
300～499 床	136	1	41	3.32	452	4.03
500 床以上	142	1	29	4.13	586	3.54
全体	474	1	41	3.28	1555	3.28

1-86. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に HBs 抗原陽性血液の汚染事故後の B 型肝炎発症予防のために HBIG を使用しましたか 《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	9	45.00%	265	44.99%	105	50.00%	92	54.44%	471	47.67%
2	いいえ	11	55.00%	324	55.01%	105	50.00%	77	45.56%	517	52.33%
	回答施設合計	20		589		210		169		988	

HBs 抗原陽性血液の汚染事故後の B 型肝炎発症予防のために HBIG を使用した件数 (件)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床	6	1	2	1.17	7	0.41
1～299 床	230	1	63	1.80	415	4.66
300～499 床	99	1	12	1.61	159	1.35
500 床以上	89	1	21	2.43	216	2.61
全体	424	1	63	1.88	797	3.70

1-87. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に HBs 抗原陽性血液の汚染事故後の B 型肝炎発症予防のために使用した HBIG 量は 《全施設対象設問》

HBs 抗原陽性血液の汚染事故後の B 型肝炎発症予防のために使用した HBIG 量 (本)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 筋注 200 単位 製剤	0 床	1	1	1	1	
	1～299 床	12	1	6	23	1.56
	300～499 床	6	1	5	10	1.63
	500 床以上	4	1	5	16	2.00
	全体	23	1	6	50	1.77
(2) 筋注 1000 単位 製剤	0 床	3	1	3	5	1.15
	1～299 床	112	1	63	243	6.41
	300～499 床	47	1	4	73	0.90
	500 床以上	42	1	18	117	3.12
	全体	204	1	63	438	4.98
(3) 静注 1000 単位 製剤	0 床	2	1	1	2	0.00
	1～299 床	109	1	6	156	0.93
	300～499 床	48	1	8	78	1.23
	500 床以上	46	1	21	129	3.30
	全体	205	1	21	365	1.87

1-88. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に肝移植術後の B 型肝炎発症予防のために HBIG を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	11.76%	17	2.93%	6	2.88%	26	15.48%	51	5.24%
2	いいえ	15	88.24%	564	97.07%	202	97.12%	142	84.52%	923	94.76%
	回答施設合計	17		581		208		168		974	

肝移植術後の B 型肝炎発症予防のために HBIG を使用した件数 (件)							
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 周術期	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	7	1	15	6.00	42	5.66
	全体	7	1	15	6.00	42	5.66
(2) 非周術期	0 床						
	1～299 床	5	1	12	3.20	16	4.92
	300～499 床	6	1	12	6.00	36	5.51
	500 床以上	24	1	1386	82.33	1976	279.62
	全体	35	1	1386	57.94	2028	232.88

1-89. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に肝移植術後の B 型肝炎発症予防のために使用した HBIG 量は

《全施設対象設問》

肝移植術後の B 型肝炎発症予防のために使用した HBIG 量静注 1000 単位製剤 (本)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床						
1～299 床	6	6	12	9.17	55	2.56
300～499 床	6	10	36	16.67	100	9.68
500 床以上	25	1	1386	149.24	3731	276.80
全体	37	1	1386	105.03	3886	235.12

10) 輸血業務のシステム化について

1-90. 輸血用血液の依頼にオーダーリングシステムを利用していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	0	0.00%	506	37.96%	340	70.83%	264	91.67%	1110	52.58%
2	利用していない	10	100.00%	789	59.19%	118	24.58%	19	6.60%	936	44.34%
3	導入を予定している	0	0.00%	38	2.85%	22	4.58%	5	1.74%	65	3.08%
	回答施設合計	10		1333		480		288		2111	

1-91. 輸血検査の依頼にオーダーリングシステムを利用していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	1	9.09%	591	44.27%	377	78.54%	271	94.10%	1240	58.66%
2	利用していない	10	90.91%	707	52.96%	88	18.33%	15	5.21%	820	38.79%
3	導入を予定している	0	0.00%	37	2.77%	15	3.13%	2	0.69%	54	2.55%
	回答施設合計	11		1335		480		288		2114	

1-92. 輸血用血液の入庫・出庫管理にコンピュータを利用していますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	1	10.00%	636	47.68%	424	88.15%	276	95.83%	1337	63.27%
2	利用していない	9	90.00%	681	51.05%	54	11.23%	11	3.82%	755	35.73%
3	導入を予定している	0	0.00%	17	1.27%	3	0.62%	1	0.35%	21	0.99%
	回答施設合計	10		1334		481		288		2113	

1-93. 輸血時、携帯端末等を用いてベッドサイドで患者と血液製剤の認証を行っていますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	0	0.00%	365	27.48%	302	62.79%	244	84.43%	911	43.24%
2	利用していない	9	100.00%	958	72.14%	174	36.17%	41	14.19%	1182	56.10%
3	一部の病棟で利用している	0	0.00%	5	0.38%	5	1.04%	4	1.38%	14	0.66%
	回答施設合計	9		1328		481		289		2107	

11) 輸血安全対策について

1-94. 輸血療法に伴う事故の防止対策、輸血実施手順を病院内で決定し実施していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	防止対策は輸血療法委員会等で検討しマニュアルも作成し実施している	158	36.57%	2210	63.93%	453	92.64%	275	95.49%	3096	66.35%
2	防止対策は輸血療法委員会等で決めているがマニュアルは作成していない	15	3.47%	72	2.08%	1	0.20%	2	0.69%	90	1.93%
3	防止対策については、院内での決定事項はなく、看護手順などにもりこみ実施している	158	36.57%	840	24.30%	28	5.73%	8	2.78%	1034	22.16%
4	防止対策についての院内で統一した取り組みはなく、個々の医師、看護師に任されている	101	23.38%	335	9.69%	7	1.43%	3	1.04%	446	9.56%
	回答施設合計	432		3457		489		288		4666	

1-95. 輸血療法に関する院内マニュアルはありますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	8	88.89%	1215	92.05%	466	97.29%	282	98.60%	1971	94.13%
2	いいえ	1	11.11%	105	7.95%	13	2.71%	4	1.40%	123	5.87%
	回答施設合計	9		1320		479		286		2094	

1-96. 輸血前感染症検査、輸血前患者検体保管、輸血後感染症検査に関するマニュアルはありますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1	10.00%	822	62.84%	356	75.11%	229	80.35%	1408	67.79%
2	いいえ	9	90.00%	486	37.16%	118	24.89%	56	19.65%	669	32.21%
	回答施設合計	10		1308		474		285		2077	

12) 輸血副作用の報告体制について

1-97. 輸血用血液による副作用の報告体制について

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	10	2.30%	200	5.78%	171	35.11%	198	67.81%	579	12.39%
2	薬剤部門に報告する体制	6	1.38%	210	6.07%	11	2.26%	5	1.71%	232	4.97%
3	検査部門に報告する体制	21	4.84%	876	25.33%	227	46.61%	69	23.63%	1193	25.54%
4	輸血療法委員会に報告する体制	25	5.76%	574	16.59%	49	10.06%	9	3.08%	657	14.06%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	50	11.52%	342	9.89%	10	2.05%	5	1.71%	407	8.71%
6	主治医がカルテに記載するのみ	235	54.15%	909	26.28%	10	2.05%	4	1.37%	1158	24.79%
7	副作用の報告体制がない	37	8.53%	187	5.41%	5	1.03%	1	0.34%	230	4.92%
8	その他	50	11.52%	161	4.65%	4	0.82%	1	0.34%	216	4.62%
	回答施設合計	434		3459		487		292		4672	

1-98. 輸血副作用発生症例を血液センターへ報告されていますか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	報告のあった症例は原則としてすべてセンターへ報告している	0	0.00%	204	15.73%	33	7.07%	11	3.82%	248	12.03%
2	中等度以上の副作用症例のみ報告している	1	11.11%	155	11.95%	101	21.63%	85	29.51%	342	16.59%
3	主治医が必要と判断した場合報告している	5	55.56%	724	55.82%	299	64.03%	187	64.93%	1215	58.95%
4	通常はセンターへ報告していない	3	33.33%	214	16.50%	34	7.28%	5	1.74%	256	12.42%
	回答施設合計	9		1297		467		288		2061	

1-99. 血漿分画製剤による副作用の報告体制について

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	8	2.06%	90	2.72%	48	10.46%	56	19.93%	202	4.55%
2	薬剤部門に報告する体制	16	4.12%	848	25.64%	251	54.68%	146	51.96%	1261	28.43%
3	検査部門に報告する体制	15	3.87%	253	7.65%	56	12.20%	20	7.12%	344	7.76%
4	輸血療法委員会に報告する体制	21	5.41%	465	14.06%	30	6.54%	9	3.20%	525	11.84%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	40	10.31%	334	10.10%	11	2.40%	6	2.14%	391	8.82%
6	主治医がカルテに記載するのみ	192	49.48%	848	25.64%	23	5.01%	9	3.20%	1072	24.17%
7	副作用の報告体制がない	31	7.99%	243	7.35%	29	6.32%	20	7.12%	323	7.28%
8	その他	65	16.75%	226	6.83%	11	2.40%	15	5.34%	317	7.15%
	回答施設合計	388		3307		459		281		4435	

13) 輸血製剤の適正使用について

1-100. 輸血製剤の適正使用に関する、病院としての取り組みは

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる。	72	17.69%	1425	41.74%	353	72.78%	238	82.64%	2088	45.45%
2	レセプト減点になるものについてのみ、指導している。	12	2.95%	145	4.25%	26	5.36%	10	3.47%	193	4.20%
3	病院全体での取組はなく、個々の医師にまかされている。	323	79.36%	1844	54.01%	106	21.86%	40	13.89%	2313	50.35%
	回答施設合計	407		3414		485		288		4594	

1-101. 赤血球製剤において国の使用基準を遵守していますか。

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	354	86.98%	2655	80.21%	384	80.50%	244	86.22%	3637	81.24%
2	必要だができていない	47	11.55%	596	18.01%	89	18.66%	38	13.43%	770	17.20%
3	いいえ	6	1.47%	59	1.78%	4	0.84%	1	0.35%	70	1.56%
	回答施設合計	407		3310		477		283		4477	

1-102. 血小板製剤において国の使用基準を遵守していますか。

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	291	88.18%	2583	82.63%	377	80.56%	243	86.17%	3494	83.07%
2	必要だができていない	27	8.18%	472	15.10%	88	18.80%	38	13.48%	625	14.86%
3	いいえ	12	3.64%	71	2.27%	3	0.64%	1	0.35%	87	2.07%
	回答施設合計	330		3126		468		282		4206	

1-103. 血漿製剤において国の使用基準を遵守していますか。

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	292	88.75%	2522	81.12%	343	73.76%	211	74.56%	3368	80.46%
2	必要だができていない	25	7.60%	522	16.79%	119	25.59%	67	23.67%	733	17.51%
3	いいえ	12	3.65%	65	2.09%	3	0.65%	5	1.77%	85	2.03%
	回答施設合計	329		3109		465		283		4186	

1-104. アルブミン製剤において国の使用基準を遵守していますか。

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	303	87.83%	2493	79.96%	327	71.71%	211	76.17%	3334	79.46%
2	必要だができていない	33	9.57%	558	17.90%	125	27.41%	63	22.74%	779	18.57%
3	いいえ	9	2.61%	67	2.15%	4	0.88%	3	1.08%	83	1.98%
	回答施設合計	345		3118		456		277		4196	

1-105. 輸血製剤の適正使用を浸透させるために行った具体的な取り組みは

複数回答

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	マニュアルの配布	3	50.00%	930	77.89%	353	78.62%	233	82.62%	1519	78.66%
2	輸血前・後の評価システム導入	1	16.67%	68	5.70%	43	9.58%	33	11.70%	145	7.51%
3	アンケート実施	0	0.00%	28	2.35%	11	2.45%	22	7.80%	61	3.16%
4	院内使用指針の改定	3	50.00%	317	26.55%	123	27.39%	80	28.37%	523	27.08%
5	輸血療法委員会で血液製剤の使用指針について話し合った	5	83.33%	482	40.37%	209	46.55%	136	48.23%	832	43.09%
6	輸血療法委員会の回数増加	1	16.67%	104	8.71%	45	10.02%	22	7.80%	172	8.91%
7	血漿分画製剤の輸血部門への移管	0	0.00%	14	1.17%	51	11.36%	75	26.60%	140	7.25%
8	専任の輸血責任医師の任命	0	0.00%	45	3.77%	57	12.69%	78	27.66%	180	9.32%
9	専任の輸血担当技師の任命	0	0.00%	50	4.19%	70	15.59%	87	30.85%	207	10.72%
10	医療保険委員会への参加	0	0.00%	24	2.01%	7	1.56%	12	4.26%	43	2.23%
11	その他	1	16.67%	98	8.21%	36	8.02%	33	11.70%	168	8.70%
	回答施設合計	6		1194		449		282		1931	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-105 その他詳細.xlsx を参照

- 1-106. 主治医等からの血液発注量が各種指針に準拠せず、多かった場合に、「輸血責任医師」及び「輸血療法委員会等委員長」と協議し、その結果を踏まえ、「輸血責任医師」又は「輸血担当技師」が、主治医に対して使用量が多いことを指摘し、双方、十分な協議のもと理解を得た上で改善を促す体制にありますか。 《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	25.00%	326	34.68%	195	51.86%	134	54.92%	657	41.90%
2	必要だができていない	5	62.50%	387	41.17%	133	35.37%	82	33.61%	607	38.71%
3	いいえ	1	12.50%	227	24.15%	48	12.77%	28	11.48%	304	19.39%
	回答施設合計	8		940		376		244		1568	

- 1-107. 輸血製剤の適正使用に関する研修・教育体制に取り組んでいますか 《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	425	33.78%	211	47.31%	172	63.70%	808	40.77%
2	いいえ	8	100.00%	833	66.22%	235	52.69%	98	36.30%	1174	59.23%
	回答施設合計	8		1258		446		270		1982	

- 1-108. 問 1-107 で「(1)、はい」を選択した施設にお尋ねします。内容は 《100床以上対象設問》

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	リスクマネジメント委員会中心の講習会			44	10.43%	23	10.90%	25	14.71%	92	11.46%
2	病院全体の講習会			210	49.76%	112	53.08%	72	42.35%	394	49.07%
3	研修会			208	49.29%	111	52.61%	91	53.53%	410	51.06%
4	その他			32	7.58%	10	4.74%	30	17.65%	72	8.97%
	回答施設合計			422		211		170		803	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-108 その他詳細.xlsx を参照

14) 血液法及び薬機法(旧薬事法)、指針の改訂について

1-109. 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)において、特定生物由来製品使用時の製剤名、製剤番号、ロット番号、患者氏名、患者住所などを記録し、20年間保管することが義務付けられていますが、その保管方法をお答え下さい **《全施設対象設問》**

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤の伝票をそのまま綴じている	150	33.94%	681	19.60%	77	15.88%	27	9.34%	935	19.93%
2	管理簿を作って記載している	238	53.85%	2092	60.20%	127	26.19%	35	12.11%	2492	53.12%
3	コンピュータで記録している	26	5.88%	622	17.90%	273	56.29%	222	76.82%	1143	24.37%
4	その他	28	6.33%	80	2.30%	8	1.65%	5	1.73%	121	2.58%
	回答施設合計	442		3475		485		289		4691	

1-110. 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)において、特定生物由来製品による感染症などの副作用が発生し、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、医療施設は厚生労働省に報告する事が求められていますが、このことに取り組んでいますか **《100床以上対象設問》**

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取り組んでいる	3	33.33%	890	70.47%	388	84.72%	254	90.39%	1535	76.33%
2	取り組んでいない	5	55.56%	182	14.41%	41	8.95%	14	4.98%	242	12.03%
3	現在検討中である	1	11.11%	191	15.12%	29	6.33%	13	4.63%	234	11.64%
	回答施設合計	9		1263		458		281		2011	

1-111. 「血液法」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)の理念並びに「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」をご存知ですか **《全施設対象設問》**

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	354	82.90%	3059	90.29%	463	97.47%	289	100.00%	4165	90.96%
2	知らない	73	17.10%	329	9.71%	12	2.53%	0	0.00%	414	9.04%
	回答施設合計	427		3388		475		289		4579	

1-112. 「血液法」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)の理念並びに「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」について、院内に周知していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	内容を含め十分周知している	90	21.03%	882	26.24%	188	39.66%	178	62.24%	1338	29.41%
2	内容まで十分知らせていない	246	57.48%	2058	61.23%	260	54.85%	103	36.01%	2667	58.63%
3	全くしていない	69	16.12%	301	8.96%	15	3.16%	1	0.35%	386	8.49%
4	その他	23	5.37%	120	3.57%	11	2.32%	4	1.40%	158	3.47%
	回答施設合計	428		3361		474		286		4549	

15) 輸血を実施した患者数について

1-113. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で輸血を実施した患者の総患者数について

《全施設対象設問》

- * 患者数はのべ患者数ではなく実患者数でお答えください。
- * 該当する患者が無しの場合は必ず 0 を記入してください。
- * 合計の患者数も必ず記入してください。
- * 自己血とは、貯血式自己血輸血のみで希釈式・回収式は含みません。

輸血実施患者数							
	項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床	(1) 同種血	411	1	151	6.69	2750	11.24
	(2) 自己血のみ	1	6	6	6.00	6	
	(3) 同種血、自己血併用	3	1	4	2.00	6	1.73
	(4) 合計	377	1	151	6.85	2581	11.60
1～299 床	(1) 同種血	3292	1	2266	65.27	214873	108.40
	(2) 自己血のみ	838	1	900	31.53	26418	58.61
	(3) 同種血、自己血併用	350	1	195	4.88	1709	12.00
	(4) 合計	3093	1	2452	75.37	233134	122.05
300～499 床	(1) 同種血	430	1	4626	416.30	179008	449.44
	(2) 自己血のみ	361	1	741	56.93	20551	76.61
	(3) 同種血、自己血併用	252	1	800	9.97	2513	51.76
	(4) 合計	428	1	3398	461.70	197607	417.27
500 床以上	(1) 同種血	257	1	11686	1048.75	269530	940.33
	(2) 自己血のみ	238	1	554	132.52	31540	106.46
	(3) 同種血、自己血併用	213	1	1090	22.25	4739	93.42
	(4) 合計	260	1	11777	1191.35	309751	965.37
全体	(1) 同種血	4390	1	11686	151.75	666161	376.42
	(2) 自己血のみ	1438	1	900	54.60	78515	81.61
	(3) 同種血、自己血併用	818	1	1090	10.96	8967	56.56
	(4) 合計	4158	1	11777	178.71	743073	412.37

16) 日赤血液製剤の使用実績について

1-114. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、日赤製剤(全血製剤、赤血球製剤、血小板製剤、新鮮凍結血漿)を使用しましたか 《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	427	92.22%	3483	97.81%	486	99.59%	290	100.00%	4686	97.58%
2	いいえ	36	7.78%	78	2.19%	2	0.41%	0	0.00%	116	2.42%
	回答施設合計	463		3561		488		290		4802	

1-115. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、全血製剤(人全血液-LR、照射人全血液-LR)を使用しましたか 《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	35	8.31%	98	2.83%	1	0.21%	5	1.73%	139	2.98%
2	いいえ	386	91.69%	3366	97.17%	482	99.79%	284	98.27%	4518	97.02%
	回答施設合計	421		3464		483		289		4657	

「(1)はい」の場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-115 使用した理由.xlsx を参照

1-116. 問 1-115 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に使用した全血製剤(人全血液-LR、照射人全血液-LR)の総袋(本)数を記入してください。 《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)人全血液-LR-1、照射人全血液-LR-1 製剤使用 総袋(本)数	0床	14	1	73	11.86	166	19.33
	1～299床	46	1	82	13.39	616	19.61
	300～499床						
	500床以上	1	8	8	8.00	8	
	全体	61	1	82	12.95	790	19.24
(2)人全血液-LR-2、照射人全血液-LR-2 製剤使用 総袋(本)数	0床	19	1	36	11.89	226	12.64
	1～299床	50	1	105	24.50	1225	29.34
	300～499床						
	500床以上						
	全体	69	1	105	21.03	1451	26.36

1-117. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した全血製剤(人全血液-LR、照射人全血液-LR)はありますか 《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	5	13.51%	27	27.84%	2	100.00%	0	0.00%	34	24.29%
2	ない	32	86.49%	70	72.16%	0	0.00%	4	100.00%	106	75.71%
	回答施設合計	37		97		2		4		140	

1-121. 問 1-120 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)の全血製剤(人全血液-LR、照射人全血液-LR)の廃棄総袋(本)数を記入してください

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)人全血液-LR-1、照射人全血液-LR-1 製剤廃棄 総袋(本)数	0 床	2	1	2	1.50	3	0.71
	1～299 床	8	1	44	13.00	104	16.25
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	10	1	44	10.70	107	15.13
(2)人全血液-LR-2、照射人全血液-LR-2 製剤廃棄 総袋(本)数	0 床	3	1	6	2.67	8	2.89
	1～299 床	15	1	29	7.13	107	8.38
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	18	1	29	6.39	115	7.86

【特別集計：全血製剤の使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
全血製剤／単位	0床	29	1	76	21.31	618	26.13
	1～299床	75	1	264	40.88	3066	60.88
	300～499床						
	500床以上	1	8	8	8.00	8	
	全体	105	1	264	35.16	3692	53.90
全血製剤／袋(本)	0床	29	1	73	13.52	392	17.62
	1～299床	75	1	160	24.55	1841	35.86
	300～499床						
	500床以上	1	8	8	8.00	8	
	全体	105	1	160	21.34	2241	32.01

【特別集計：全血製剤の廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
全血製剤廃棄／単位	0床	4	1	14	4.75	19	6.18
	1～299床	20	1	102	15.90	318	24.79
	300～499床						
	500床以上						
	全体	24	1	102	14.04	337	23.04
全血製剤廃棄／袋(本)	0床	4	1	8	2.75	11	3.50
	1～299床	20	1	73	10.55	211	17.76
	300～499床						
	500床以上						
	全体	24	1	73	9.25	222	16.46

1-119. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、赤血球製剤を**使用**しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	405	96.43%	3408	98.64%	483	99.79%	289	100.00%	4585	98.64%
2	いいえ	15	3.57%	47	1.36%	1	0.21%	0	0.00%	63	1.36%
	回答施設合計	420		3455		484		289		4648	

1-120. 問 1-119 で「(1)、はい」の場合、過去1年間(2014年1月～2014年12月)で**使用**した赤血球製剤の**使用総袋(本)数**を記入してください。《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)赤血球液・LR-1、照射赤血球液・LR-1 製剤使用総袋(本)数	0床	79	1	160	15.25	1205	23.59
	1～299床	1053	1	527	31.39	33052	55.79
	300～499床	259	1	1412	49.09	12714	120.40
	500床以上	224	1	1411	89.54	20058	152.83
	全体	1615	1	1412	41.50	67029	89.61
(2)赤血球液・LR-2、照射赤血球液・LR-2 製剤使用総袋(本)数	0床	113	1	252	21.73	2456	29.71
	1～299床	1545	1	2013	120.03	185439	177.02
	300～499床	362	1	4280	571.67	206946	493.74
	500床以上	247	1	10357	1692.91	418148	1128.38
	全体	2267	1	10357	358.62	812989	666.51
(3)赤血球濃厚液・LR-1、照射赤血球濃厚液・LR-1 製剤使用総袋(本)数	0床	133	1	171	12.65	1683	23.45
	1～299床	1795	1	1298	37.05	66497	72.63
	300～499床	339	1	865	78.71	26682	135.08
	500床以上	246	1	1861	133.40	32816	219.41
	全体	2513	1	1861	50.81	127678	109.23
(4)赤血球濃厚液・LR-2、照射赤血球濃厚液・LR-2 製剤使用総袋(本)数	0床	239	1	400	19.72	4714	33.59
	1～299床	2542	1	2575	154.86	393655	233.28
	300～499床	447	1	5021	832.24	372011	712.26
	500床以上	269	1	7071	2433.91	654722	1418.00
	全体	3497	1	7071	407.52	1425102	808.83

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(5)洗浄赤血球液-LR-1、照射洗浄赤血球液-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床	6	1	28	9.17	55	10.19
	1～299 床	34	1	583	31.18	1060	101.65
	300～499 床	8	1	520	67.13	537	183.01
	500 床以上	25	1	136	15.32	383	33.25
	全体	73	1	583	27.88	2035	92.89
(6)洗浄赤血球液-LR-2、照射洗浄赤血球液-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床	9	1	38	14.89	134	15.12
	1～299 床	137	1	186	12.32	1688	24.16
	300～499 床	93	1	123	9.18	854	15.52
	500 床以上	126	1	10461	108.10	13620	930.97
	全体	365	1	10461	44.65	16296	547.76
(7)解凍赤血球液-LR-1、照射解凍赤血球液-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床	2	4	13	8.50	17	6.36
	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床	1	4	4	4.00	4	
	500 床以上						
	全体	4	1	13	5.50	22	5.20
(8)解凍赤血球液-LR-2、照射解凍赤血球液-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床	2	4	7	5.50	11	2.12
	1～299 床	8	1	4	2.75	22	1.28
	300～499 床	8	1	5	2.25	18	1.58
	500 床以上	12	1	14	3.33	40	3.87
	全体	30	1	14	3.03	91	2.74
(9)合成血液-LR-1、照射合成血液-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床	1	1	1	1.00	1	
	1～299 床	2	2	4	3.00	6	1.41
	300～499 床	4	1	3	1.50	6	1.00
	500 床以上	7	1	2	1.29	9	0.49
	全体	14	1	4	1.57	22	0.94
(10)合成血液-LR-2、照射合成血液-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	5	1	6	3.80	19	2.28
	300～499 床	6	1	9	2.67	16	3.14
	500 床以上	15	1	36	5.53	83	8.56
	全体	26	1	36	4.54	118	6.74

1-121. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、使用せずに**廃棄**した赤血球製剤はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	51	12.72%	1926	57.08%	446	92.34%	280	96.89%	2703	59.45%
2	いいえ	350	87.28%	1448	42.92%	37	7.66%	9	3.11%	1844	40.55%
	回答施設合計	401		3374		483		289		4547	

1-122. 問 1-121 で「(1)、ある」の場合、過去1年間(2014年1月～2014年12月)の赤血球製剤の**廃棄**総袋(本)数を記入してください。

《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)赤血球液・LR-1、照射赤血球液・LR-1 製剤使用総袋(本)数	0床	11	1	4	1.73	19	1.01
	1～299床	292	1	138	6.84	1997	13.57
	300～499床	82	1	61	5.65	463	8.97
	500床以上	63	1	27	4.19	264	5.25
	全体	448	1	138	6.12	2743	11.82
(2)赤血球液・LR-2、照射赤血球液・LR-2 製剤使用総袋(本)数	0床	16	1	4	1.813	29	0.91
	1～299床	842	1	205	9.96	8387	16.39
	300～499床	332	1	176	14.98	4972	16.90
	500床以上	233	1	192	16.52	3850	18.43
	全体	1423	1	205	12.11	17238	17.03
(3)赤血球濃厚液・LR-1、照射赤血球濃厚液・LR-1 製剤使用総袋(本)数	0床	6	1	56	11.00	66	22.05
	1～299床	534	1	111	7.19	3838	13.08
	300～499床	142	1	52	7.63	1083	9.74
	500床以上	91	1	36	5.52	502	6.56
	全体	773	1	111	7.10	5489	12.01
(4)赤血球濃厚液・LR-2、照射赤血球濃厚液・LR-2 製剤使用総袋(本)数	0床	22	1	7	1.68	37	1.49
	1～299床	1384	1	204	13.42	18569	22.40
	300～499床	405	1	184	25.56	10351	25.58
	500床以上	258	1	144	25.86	6673	23.65
	全体	2069	1	204	17.22	35630	23.84

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(5)洗浄赤血球液-LR-1、照射洗浄赤血球液-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	5	1	18	5.40	27	7.09
	300～499 床	1	26	26	26.00	26	
	500 床以上	6	1	16	3.50	21	6.12
	全体	12	1	26	6.17	74	8.67
(6)洗浄赤血球液-LR-2、照射洗浄赤血球液-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	16	1	10	2.06	33	2.24
	300～499 床	12	1	4	1.67	20	0.89
	500 床以上	15	1	69	6.53	98	17.33
	全体	43	1	69	3.51	151	10.35
(7)解凍赤血球液-LR-1、照射解凍赤血球液-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体						
(8)解凍赤血球液-LR-2、照射解凍赤血球液-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床	3	1	11	4.33	13	5.77
	500 床以上	4	1	2	1.75	7	0.50
	全体	7	1	11	2.86	20	3.63
(9)合成血液-LR-1、照射合成血液-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体						
(10)合成血液-LR-2、照射合成血液-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	2	2	3	2.50	5	0.71
	300～499 床						
	500 床以上	8	1	2	1.50	12	0.53
	全体	10	1	3	1.70	17	0.67

1-123. 赤血球製剤を廃棄した要因は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	有効期限切れ	19	39.58%	1547	82.07%	428	96.61%	270	96.77%	2264	85.27%
2	破損	0	0.00%	56	2.97%	60	13.54%	86	30.82%	202	7.61%
3	保管管理不良	2	4.17%	115	6.10%	118	26.64%	167	59.86%	402	15.14%
4	転用ができない	23	47.92%	750	39.79%	145	32.73%	101	36.20%	1019	38.38%
5	その他	19	39.58%	201	10.66%	23	5.19%	47	16.85%	290	10.92%
	回答施設合計	48		1885		443		279		2655	

「(5)その他」の場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-123 その他詳細.xlsx を参照

【特別集計：赤血球製剤の使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
赤血球製剤総単位数	0 床	401	1	802	43.87	17591	69.34
	1～299 床	3364	1	9376	375.23	1262262	613.29
	300～499 床	478	2	15894	2509.69	1199633	2085.07
	500 床以上	284	1	23844	7839.76	2226492	4582.43
	全体	4527	1	23844	1039.54	4705978	2365.77
赤血球製剤総袋(本)数	0 床	401	1	402	25.63	10276	39.02
	1～299 床	3364	1	4749	202.57	681439	322.94
	300～499 床	478	1	7947	1296.63	619788	1058.81
	500 床以上	284	1	11987	4013.66	1139879	2338.68
	全体	4527	1	11987	541.50	2451382	1209.73

【特別集計：赤血球製剤の廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
赤血球製剤廃棄 総単位数	0床	48	1	70	4.52	217	9.85
	1～299床	1886	1	435	31.73	59850	56.07
	300～499床	442	1	475	73.04	32284	68.96
	500床以上	276	1	396	79.95	22067	72.98
	全体	2652	1	475	43.14	114418	63.17
赤血球製剤廃棄 総袋(本)数	0床	48	1	63	3.15	151	8.91
	1～299床	1886	1	258	17.42	32856	30.99
	300～499床	442	1	262	38.30	16928	36.14
	500床以上	276	1	199	41.40	11427	37.99
	全体	2652	1	262	23.14	61362	33.98

1-124. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、血小板製剤を**使用**しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	37	9.07%	1771	52.18%	446	92.15%	276	95.83%	2530	55.31%
2	いいえ	371	90.93%	1623	47.82%	38	7.85%	12	4.17%	2044	44.69%
	回答施設合計	408		3394		484		288		4574	

1-125. 問 1-124 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した血小板製剤の使用総袋(本)数を記入してください。《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)濃厚血小板-LR-1、照射濃厚血小板-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床	5	1	2	1.80	9	0.45
	1～299 床	24	1	28	7.50	180	7.80
	300～499 床	4	1	10	4.50	18	4.04
	500 床以上	24	1	77	8.50	204	16.24
	全体	57	1	77	7.21	411	11.75
(2)濃厚血小板-LR-2、照射濃厚血小板-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床	1	6	6	6.00	6	
	1～299 床	19	1	445	33.58	638	100.26
	300～499 床	6	1	185	35.67	214	73.39
	500 床以上	17	1	24	4.47	76	6.90
	全体	43	1	445	21.72	934	72.01
(3)濃厚血小板-LR-5、照射濃厚血小板-LR-5 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	272	1	120	4.47	1216	11.49
	300～499 床	213	1	322	9.72	2071	25.89
	500 床以上	207	1	688	42.46	8790	90.51
	全体	692	1	688	17.45	12077	54.51
(4)濃厚血小板-LR-10、照射濃厚血小板-LR-10 製剤使用総袋(本)数	0 床	29	1	134	19.97	579	31.14
	1～299 床	1604	1	3289	41.25	66157	151.86
	300～499 床	436	1	3693	283.76	123719	415.19
	500 床以上	268	5	20835	1402.01	375738	1591.83
	全体	2337	1	20835	242.27	566193	721.49
(5)濃厚血小板-LR-15、照射濃厚血小板-LR-15 製剤使用総袋(本)数	0 床	2	1	3	2.00	4	1.41
	1～299 床	500	1	993	10.51	5257	50.44
	300～499 床	268	1	360	32.43	8692	54.76
	500 床以上	220	1	1614	98.29	21623	180.70
	全体	990	1	1614	35.94	35576	102.57
(6)濃厚血小板-LR-20、照射濃厚血小板-LR-20 製剤使用総袋(本)数	0 床	3	1	17	6.33	19	9.24
	1～299 床	571	1	864	12.50	7137	45.79
	300～499 床	268	1	1571	43.31	11606	136.04
	500 床以上	208	1	2499	122.19	25416	229.24
	全体	1050	1	2499	42.07	44178	134.07

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(7)濃厚血小板 HLA-LR-1、照射濃厚血小板 HLA-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体						
(8)濃厚血小板 HLA-LR-2、照射濃厚血小板 HLA-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	1	2	2	2.00	2	
	全体	1	2	2	2.00	2	
(9)濃厚血小板 HLA-LR-5、照射濃厚血小板 HLA-LR-5 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	1	1	1	1	1	
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	1	1	1	1	1	
(10)濃厚血小板 HLA-LR-10、照射濃厚血小板 HLA-LR-10 製剤使用総袋(本)数	0 床	1	8	8	8	8	
	1～299 床	54	1	94	16.52	892	23.26
	300～499 床	102	1	342	30.26	3087	46.45
	500 床以上	175	1	875	75.07	13138	109.80
	全体	332	1	875	51.58	17125	87.87
(11)濃厚血小板 HLA-LR-15、照射濃厚血小板 HLA-LR-15 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	20	1	52	8.10	162	14.01
	300～499 床	54	1	98	7.19	388	14.66
	500 床以上	102	1	99	9.48	967	15.64
	全体	176	1	99	8.62	1517	15.12
(12)濃厚血小板 HLA-LR-20、照射濃厚血小板 HLA-LR-20 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	19	1	175	17.42	331	39.19
	300～499 床	26	1	61	13.69	356	18.07
	500 床以上	67	1	167	15.55	1042	25.91
	全体	112	1	175	15.44	1729	26.89

1-126. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用した血小板製剤のうち、**外来での使用**はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	19	35.19%	331	17.85%	261	59.59%	250	91.24%	861	32.86%
2	ない	35	64.81%	1523	82.15%	177	40.41%	24	8.76%	1759	67.14%
	回答施設合計	54		1854		438		274		2620	

1-127. 問 1-126 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)での**外来で使用**した血小板製剤の**使用総袋(本)数**を記入してください。

《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)濃厚血小板-LR-1、照射濃厚血小板-LR-1 製剤使用総袋(本)数	0 床	4	2	2	2.00	8	0.00
	1～299 床	2	2	3	2.50	5	0.71
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	6	2	3	2.17	13	0.41
(2)濃厚血小板-LR-2、照射濃厚血小板-LR-2 製剤使用総袋(本)数	0 床	1	6	6	6.00	6	
	1～299 床	2	2	10	6.00	12	5.66
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	3	2	10	6.00	18	4.00
(3)濃厚血小板-LR-5、照射濃厚血小板-LR-5 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	12	1	12	2.83	34	3.24
	300～499 床	18	1	12	3.22	58	3.89
	500 床以上	45	1	65	6.91	311	10.71
	全体	75	1	65	5.37	403	8.77
(4)濃厚血小板-LR-10、照射濃厚血小板-LR-10 製剤使用総袋(本)数	0 床	14	1	95	26.14	366	31.44
	1～299 床	285	1	588	26.68	7605	54.11
	300～499 床	226	1	426	60.02	13565	81.59
	500 床以上	218	1	7166	192.52	41970	498.30
	全体	743	1	7166	85.47	63506	284.13

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(5)濃厚血小板-LR-15、照射濃厚血小板-LR-15 製剤 使用総袋(本)数	0 床	1	1	1.00	1	
	1～299 床	51	1	85	437	16.24
	300～499 床	59	1	168	815	25.83
	500 床以上	96	1	931	2400	98.08
	全体	207	1	931	3653	68.84
(6)濃厚血小板-LR-20、照射濃厚血小板-LR-20 製剤 使用総袋(本)数	0 床	2	1	17	18	11.31
	1～299 床	53	1	156	520	24.19
	300～499 床	50	1	176	798	35.50
	500 床以上	98	1	954	2432	98.02
	全体	203	1	954	3768	71.50
(7)濃厚血小板 HLA-LR-1、照射濃厚血小板 HLA-LR-1 製剤廃棄総袋(本)数	0 床					
	1～299 床					
	300～499 床					
	500 床以上					
	全体					
(8)濃厚血小板 HLA-LR-2、照射濃厚血小板 HLA-LR-2 製剤廃棄総袋(本)数	0 床					
	1～299 床					
	300～499 床					
	500 床以上					
	全体					
(9)濃厚血小板 HLA-LR-5、照射濃厚血小板 HLA-LR-5 製剤廃棄総袋(本)数	0 床					
	1～299 床					
	300～499 床					
	500 床以上					
	全体					
(10)濃厚血小板 HLA-LR-10、照射濃厚血小板 HLA-LR-10 製剤廃棄総袋(本)数	0 床					
	1～299 床	18	1	67	323	22.89
	300～499 床	41	1	91	693	22.19
	500 床以上	72	1	304	2314	48.17
	全体	131	1	304	3330	39.28

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(11)濃厚血小板 HLA-LR-15、照射濃厚血小板 HLA-LR-15 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	10	1	12	4.60	46	4.01
	300～499 床	20	1	43	5.45	109	9.46
	500 床以上	36	1	42	6.89	248	8.97
	全体	66	1	43	6.11	403	8.51
(12)濃厚血小板 HLA-LR-20、照射濃厚血小板 HLA-LR-20 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	8	3	45	15.00	120	14.29
	300～499 床	9	1	32	13.78	124	11.52
	500 床以上	28	1	68	11.25	315	16.61
	全体	45	1	68	12.42	559	15.11

1-128. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した血小板製剤はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	2.78%	207	11.79%	230	51.80%	233	84.42%	671	26.72%
2	ない	35	97.22%	1548	88.21%	214	48.20%	43	15.58%	1840	73.28%
	回答施設合計	36		1755		444		276		2511	

1-129. 問 1-128 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)の血小板製剤の**廃棄**総袋(本)数を記入してください。

《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)濃厚血小板-LR-1、照射濃厚血小板-LR-1 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	1	1	1	1.00	1	
(2)濃厚血小板-LR-2、照射濃厚血小板-LR-2 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床	1	1	1	1.00	1	
	500 床以上						
	全体	1	1	1	1.00	1	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(3)濃厚血小板-LR-5、照射濃厚血小板-LR-5 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1~299 床	9	1	3	1.22	11	0.67
	300~499 床	11	1	3	1.45	16	0.69
	500 床以上	34	1	6	1.71	58	1.06
	全体	54	1	6	1.57	85	0.94
(4)濃厚血小板-LR-10、照射濃厚血小板-LR-10 製剤廃棄総袋(本)数	0 床	1	2	2	2.00	2	
	1~299 床	170	1	15	1.81	308	1.73
	300~499 床	195	1	18	2.47	481	2.31
	500 床以上	216	1	60	6.37	1375	8.24
	全体	582	1	60	3.72	2166	5.66
(5)濃厚血小板-LR-15、照射濃厚血小板-LR-15 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1~299 床	12	1	2	1.17	14	0.39
	300~499 床	28	1	2	1.14	32	28.00
	500 床以上	38	1	4	1.24	47	0.63
	全体	78	1	4	1.19	93	0.51
(6)濃厚血小板-LR-20、照射濃厚血小板-LR-20 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1~299 床	28	1	3	1.14	32	0.45
	300~499 床	44	1	3	1.25	55	0.58
	500 床以上	55	1	20	2.18	120	2.74
	全体	127	1	20	1.63	207	1.90
(7)濃厚血小板 HLA-LR-1、照射濃厚血小板 HLA-LR-1 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1~299 床	1	1	1	1.00	1	
	300~499 床						
	500 床以上						
	全体	1	1	1	1.00	1	
(8)濃厚血小板 HLA-LR-2、照射濃厚血小板 HLA-LR-2 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1~299 床						
	300~499 床						
	500 床以上						
	全体						

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(9)濃厚血小板 HLA-LR-5、照射濃厚血小板 HLA-LR-5 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体						
(10)濃厚血小板 HLA-LR-10、照射濃厚血小板 HLA-LR-10 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	4	1	1	1.00	4	0.00
	300～499 床	4	1	3	1.75	7	4.00
	500 床以上	22	1	6	1.45	32	1.10
	全体	30	1	6	1.43	43	1.01
(11)濃厚血小板 HLA-LR-15、照射濃厚血小板 HLA-LR-15 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床	2	1	1	1.00	2	0.00
	500 床以上	3	1	2	1.33	4	0.58
	全体	5	1	2	1.20	6	0.45
(12)濃厚血小板 HLA-LR-20、照射濃厚血小板 HLA-LR-20 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	1	3	3	3.00	3	
	全体	1	3	3	3.00	3	

1-130. 血小板製剤を廃棄した要因は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	有効期限切れ	1	100.00%	119	57.77%	146	64.04%	166	71.55%	432	64.77%
2	破損	0	0.00%	5	2.43%	9	3.95%	28	12.07%	42	6.30%
3	保管管理不良	0	0.00%	12	5.83%	8	3.51%	22	9.48%	42	6.30%
4	転用ができない	0	0.00%	85	41.26%	125	54.82%	117	50.43%	327	49.03%
5	その他	0	0.00%	56	27.18%	42	18.42%	42	18.10%	140	20.99%
	回答施設合計	1		206		228		232		667	

「(5)その他」の場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-130 その他詳細.xlsx を参照

【特別集計：血小板製剤の使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総単位数	0 床	35	1	1340	180.89	305.29
	1～299 床	1742	1	53315	521.63	1998.46
	300～499 床	442	5	38525	3742.76	5264.95
	500 床以上	271	4	215208	17716.16	17877.56
	全体	2490	1	215208	2960.00	7370388
血小板製剤総袋(本)数	0 床	35	1	134	17.86	29.52
	1～299 床	1742	1	4677	47.06	178.32
	300～499 床	442	1	3822	339.71	468.18
	500 床以上	271	1	21551	1649.43	1720.48
	全体	2490	1	21551	272.99	679743

【特別集計：血小板製剤の外来使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
血小板製剤廃棄 総単位数	0床	18	2	950	225.28	4055	319.02
	1～299床	312	2	8345	318.99	99524	696.87
	300～499床	230	10	4880	761.61	175170	991.70
	500床以上	222	10	74755	2428.18	539055	5504.03
	全体	782	2	74755	1045.79	817804	3138.45
血小板製剤廃棄 総袋(本)数	0床	18	1	95	22.17	399	30.07
	1～299床	312	1	740	29.17	9102	61.32
	300～499床	230	1	467	70.27	16162	90.74
	500床以上	222	1	7473	225.18	49990	528.74
	全体	782	1	7473	96.74	75653	299.81

【特別集計：血小板製剤の病棟使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
血小板製剤廃棄 総単位数	0床	35	0	690	65.03	2276	145.17
	1～299床	1742	0	44970	464.50	809152	1759.35
	300～499床	442	0	34570	3346.45	1479131	4820.80
	500床以上	271	4	140453	15727.03	4262025	14255.18
	全体	2490	0	140453	2631.56	6552584	7104.13
血小板製剤廃棄 総袋(本)数	0床	35	0	69	6.46	226	14.40
	1～299床	1742	0	3937	41.83	72869	157.84
	300～499床	442	0	3431	303.14	133989	428.44
	500床以上	271	1	14078	1464.97	397006	1367.94
	全体	2490	0	14078	242.61	604090	667.29

【特別集計：血小板製剤の廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤廃棄 総単位数	0床	1	20	20	20	
	1～299床	201	1	150	20.03	18.83
	300～499床	226	5	215	29.08	27.27
	500床以上	227	5	720	77.47	102.60
	全体	655	1	720	43.06	68.14
血小板製剤廃棄 総袋(本)数	0床	1	2	2.00	2	
	1～299床	201	1	15	1.85	1.79
	300～499床	226	1	22	2.63	2.54
	500床以上	227	1	68	7.22	9.31
	全体	655	1	68	3.98	6.23

1-131. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、血漿製剤を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	11	2.72%	1515	44.81%	439	91.46%	274	95.14%	2239	49.18%
2	いいえ	393	97.28%	1866	55.19%	41	8.54%	14	4.86%	2314	50.82%
	回答施設合計	404		3381		480		279		4553	

1-132. 問 1-131 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で**使用**した、血漿製剤の使用総袋(本)数を記入してください。《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)新鮮凍結血漿-LR-1、新鮮凍結血漿-LR-120 製剤使用総袋(本)数	0 床	2	2	2	2.00	4	0.00
	1～299 床	389	1	752	14.95	5816	58.42
	300～499 床	154	1	2171	40.61	6254	190.46
	500 床以上	182	1	1519	99.02	18021	187.14
	全体	727	1	2171	41.40	30095	139.33
(2)新鮮凍結血漿-LR-2、新鮮凍結血漿-LR-240 製剤使用総袋(本)数	0 床	8	1	38	7.75	62	12.46
	1～299 床	1318	1	3477	61.27	80757	185.94
	300～499 床	407	1	6042	330.30	134431	572.55
	500 床以上	264	2	7390	1254.43	331170	1313.98
	全体	1997	1	7390	273.62	546420	689.16
(3)新鮮凍結血漿-LR-Ap(450) 製剤使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	43	1	270	17.81	766	45.62
	300～499 床	17	1	478	44.41	755	112.92
	500 床以上	12	1	450	132.83	1594	158.87
	全体	72	1	478	43.26	3115	98.81
(4)新鮮凍結血漿-LR-480 製剤使用総袋(本)数	0 床	2	4	9	6.50	13	3.54
	1～299 床	470	1	686	28.16	13234	61.85
	300～499 床	282	1	2026	102.10	28792	178.32
	500 床以上	239	1	4380	448.68	107235	625.54
	全体	993	1	4380	150.33	149274	365.95

1-133. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した、血漿製剤はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	10.00%	728	48.12%	391	89.07%	271	98.91%	1391	62.21%
2	ない	9	90.00%	785	51.88%	48	10.93%	3	1.09%	845	37.79%
	回答施設合計	10		1513		439		274		2236	

1-134. 問 1-133 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で**廃棄**した、血漿製剤の廃棄総袋(本)数を記入してください。《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)新鮮凍結血漿-LR-1、新鮮凍結血漿-LR-120 製剤 廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	80	1	35	5.29	423	6.99
	300～499 床	49	1	34	4.53	222	6.30
	500 床以上	70	1	34	4.39	307	5.82
	全体	199	1	35	4.78	952	6.41
(2)新鮮凍結血漿-LR-2、新鮮凍結血漿-LR-240 製剤 廃棄総袋(本)数	0 床	1	1	1	1.00	1	
	1～299 床	631	1	59	6.63	4185	7.34
	300～499 床	339	1	57	9.14	3100	7.93
	500 床以上	245	1	112	15.77	3863	15.06
	全体	1216	1	112	9.17	11149	10.16
(3)新鮮凍結血漿-LR-Ap(450) 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	14	1	6	1.64	23	1.34
	300～499 床	14	1	7	2.29	32	1.94
	500 床以上	5	1	11	4.20	21	4.09
	全体	33	1	11	2.30	76	2.26
(4)新鮮凍結血漿-LR-480 製剤廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	132	1	55	3.42	451	5.64
	300～499 床	109	1	20	3.57	389	3.43
	500 床以上	135	1	34	6.45	871	6.56
	全体	376	1	55	4.55	1711	5.65

1-135. 血漿製剤を廃棄した要因は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	有効期限切れ	0	0.00%	637	88.35%	333	85.82%	183	68.03%	1153	83.61%
2	破損	0	0.00%	105	14.56%	128	32.99%	193	71.75%	426	30.89%
3	保管管理不良	1	100.00%	39	5.41%	50	12.89%	94	34.94%	184	13.34%
4	転用ができない	0	0.00%	193	26.77%	97	25.00%	84	31.23%	374	27.12%
5	その他	0	0.00%	57	7.91%	52	13.40%	76	28.25%	185	13.42%
	回答施設合計	1		721		388		269		1379	

「(5)その他」の場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-135 その他詳細.xlsx を参照

【特別集計：新鮮凍結血漿-LR-1、LR-120 と新鮮凍結血漿-LR-2、LR-240 を合算した使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
新鮮凍結血漿-LR-1、 LR-120 と新鮮凍結血漿 -LR-2、LR-240 を合算し た使用総単位数	0 床	8	2	76	16.00	128	24.91
	1～299 床	1378	1	6956	121.43	167330	367.46
	300～499 床	410	1	12084	671.01	275116	1151.51
	500 床以上	267	1	14910	2548.17	680361	2692.93
	全体	2063	1	14910	544.32	1122935	1390.11
新鮮凍結血漿-LR-1、 LR-120 と新鮮凍結血漿 -LR-2、LR-240 を合算し た使用総袋(本)	0 床	8	1	38	8.25	66	12.46
	1～299 床	1378	1	3479	62.83	86573	186.53
	300～499 床	410	1	6042	343.13	140685	586.31
	500 床以上	267	1	7520	1307.83	349191	1383.58
	全体	2063	1	7520	279.45	576515	712.57

【特別集計：新鮮凍結血漿-LR-Ap（450）と新鮮凍結血漿-LR-480 を合算した使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
新鮮凍結血漿-LR-Ap (450)と新鮮凍結血漿 -LR-480 を合算した使用 総単位数	0床	2	16.00	36.00	26.00	52.00	14.14
	1～299床	504	3.75	2744.00	110.73	55808.50	243.97
	300～499床	294	3.75	8104.00	401.38	117999.25	706.07
	500床以上	244	4.00	17520.00	1782.45	434917.50	2483.79
	全体	1044	3.75	17520.00	583.12	608777.25	1435.38
新鮮凍結血漿-LR-Ap (450)と新鮮凍結血漿 -LR-480 を合算した使用 総袋(本)	0床	2	4	9	6.50	13	3.54
	1～299床	504	1	686	27.78	14000	61.15
	300～499床	294	1	2026	100.50	29547	176.71
	500床以上	244	1	4380	446.02	108829	620.95
	全体	1044	1	4380	145.97	152389	358.95

【特別集計：血漿製剤の使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0床	9	2.00	76.00	20.00	180.00	24.43
	1～299床	1471	1.00	7260.00	151.69	223138.50	404.28
	300～499床	429	1.00	12084.00	916.35	393115.25	1311.85
	500床以上	268	3.00	24257.00	4161.49	1115278.50	3659.00
	全体	2177	1.00	24257.00	795.46	1731712.25	1942.33
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0床	9	1	38	8.78	79	11.67
	1～299床	1471	1	3555	68.37	100573	189.58
	300～499床	429	1	6042	396.81	170232	603.04
	500床以上	268	3	9909	1709.03	458020	1528.49
	全体	2177	1	9909	334.82	728904	815.02

【特別集計：新鮮凍結血漿-LR-1、LR-120 と新鮮凍結血漿-LR-2、LR-240 を合算した廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
新鮮凍結血漿-LR-1、 LR-120 と新鮮凍結血漿 -LR-2、LR-240 を合算し た廃棄総単位数	0 床	1	2	2	2.00	2	
	1～299 床	651	1	118	13.51	8793	15.04
	300～499 床	346	1	114	18.56	6422	16.17
	500 床以上	248	1	224	32.39	8033	31.25
	全体	1246	1	224	18.66	23250	20.88
新鮮凍結血漿-LR-1、 LR-120 と新鮮凍結血漿 -LR-2、LR-240 を合算し た廃棄総袋(本)	0 床	1	1	1	1.00	1	
	1～299 床	651	1	59	7.08	4608	8.00
	300～499 床	346	1	57	9.60	3322	8.45
	500 床以上	248	1	112	16.81	4170	16.37
	全体	1246	1	112	9.71	12101	10.96

【特別集計：新鮮凍結血漿-LR-Ap（450） と新鮮凍結血漿-LR-480 を合算した廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
新鮮凍結血漿-LR-Ap (450) と新鮮凍結血漿 -LR-480 を合算した廃棄 総単位数	0 床						
	1～299 床	143	3.75	220.00	13.22	1890.25	21.86
	300～499 床	118	3.75	80.00	14.20	1676.00	13.63
	500 床以上	139	3.75	136.00	25.63	3562.75	26.05
	全体	400	3.75	220.00	17.82	7129.00	22.18
新鮮凍結血漿-LR-Ap (450) と新鮮凍結血漿 -LR-480 を合算した廃棄 総袋(本)	0 床						
	1～299 床	143	1	55	3.31	474	5.47
	300～499 床	118	1	20	3.57	421	3.42
	500 床以上	139	1	34	6.42	892	6.51
	全体	400	1	55	4.47	1787	5.55

【特別集計：血漿製剤の廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 廃棄総単位数	0床	1	2.00	2.00	2.00	
	1～299床	717	1.00	220.00	14.90	10683.25
	300～499床	385	1.00	114.00	21.03	8098.00
	500床以上	265	1.00	244.00	43.76	11595.75
	全体	1368	1.00	244.00	22.21	30379.00
新鮮凍結血漿製剤 廃棄総袋(本)数	0床	1	1	1	1.00	1
	1～299床	717	1	59	7.09	5082
	300～499床	385	1	57	9.72	3743
	500床以上	265	1	117	19.10	5062
	全体	1368	1	117	10.15	13888

【特別集計：病床数あたりの日赤製剤使用量】

病床数あたりの製剤別血液製剤使用量（単位）（計算式：製剤別血液製剤使用量÷病床数）						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 全血製剤／単位	1～299床	75	0.0077	12.7895	1.3975	104.8134
	300～499床					
	500床以上	1	0.0131	0.0131	0.0131	0.0131
	全体	76	0.0077	12.7895	1.3793	104.8265
(2) 赤血球製剤／単位	1～299床	3364	0.0078	154.0000	3.6687	12341.4884
	300～499床	478	0.0051	48.7546	6.5740	3142.3681
	500床以上	284	0.0016	39.8729	11.0588	3140.7113
	全体	4126	0.0016	154.0000	4.5140	18624.5678
(3) 血小板製剤／単位	1～299床	1742	0.0051	230.8009	3.7837	6591.2022
	300～499床	442	0.0106	127.8405	9.8049	4333.7609
	500床以上	271	0.0052	359.8796	24.8456	6733.1578
	全体	2455	0.0051	359.8796	7.1927	17658.1209
(4) 血漿製剤／単位	1～299床	1471	0.0043	63.4783	1.2292	1808.1016
	300～499床	429	0.0032	35.4370	2.3768	1019.6507
	500床以上	268	0.006	34.2613	5.6234	1507.0788
	全体	2168	0.0032	63.4783	1.9995	4334.8311

17) 血液照射について

1-136. 血液製剤専用の放射線照射装置を設置していますか？

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	X線血液製剤照射装置を設置している	0	0.00%	25	1.92%	27	5.82%	51	17.83%	103	5.00%
2	γ線血液製剤照射装置を設置している	0	0.00%	8	0.61%	9	1.94%	61	21.33%	78	3.78%
3	いいえ	9	100.00%	1270	97.47%	428	92.24%	174	60.84%	1881	91.22%
	回答施設合計	9		1303		464		286		2062	

1-137. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤がありましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	7	0.22%	11	2.70%	5	1.92%	23	0.54%
2	いいえ	419	100.00%	3158	99.78%	397	97.30%	256	98.08%	4230	99.46%
	回答施設合計	419		3165		408		261		4253	

1-138. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に購入した日赤未照射製剤と院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤の製剤別単位数を記入してください

《全施設対象設問》

購入した日赤未照射製剤総量 (単位)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 日赤未照射赤血球製剤/単位	0床						
	1～299床	6	4	1494	504.67	3028	661.17
	300～499床	9	2	5001	2350.44	21154	1878.74
	500床以上	5	65	9548	4210.00	21050	4164.18
	全体	20	2	9548	2261.60	45232	2688.75
(2) 日赤未照射血小板製剤/単位	0床						
	1～299床	2	10	330	170.00	340	226.27
	300～499床	1	11720	11720	11720.00	11720	
	500床以上	1	14810	14810	14810.00	14810	4023.78
	全体	4	10	14810	6717.50	26870	7666.03

院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤量 (単位)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 日赤未照射赤血球製剤/単位	0床						
	1～299床	4	2	6	4.25	17	1.71
	300～499床	6	4	54	16.00	96	18.80
	500床以上	3	6	88	38.00	114	43.86
	全体	13	2	88	17.46	227	25.17
(2) 日赤未照射血小板製剤/単位	全体						

1-139. 日赤未照射製剤を院内で照射が行なえなかった理由は **複数回答**

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった			2	50.00%	6	100.00%	3	100.00%	11	84.62%
2	時間外に院内照射を行なう体制がないため			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	放射線照射装置の故障のため			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	高K血症の予防のため			1	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%
5	その他			1	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%
	回答施設合計			4		6		3		13	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-139 その他詳細.xlsx を参照

18) FFP 融解後の使用期限について

1-140. FFP の融解を輸血部門で行っているか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	1	11.11%	260	19.95%	165	35.11%	132	46.48%	558	27.01%
2	行っていない	8	88.89%	1043	80.05%	305	64.89%	152	53.52%	1508	72.99%
	回答施設合計	9		1303		470		284		2066	

1-141. FFP 融解後の使用期限が「融解後3時間以内」であることを知っていたか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	6	75.00%	1158	90.82%	456	98.06%	280	99.29%	1900	93.60%
2	知らない	2	25.00%	117	9.18%	9	1.94%	2	0.71%	130	6.40%
	回答施設合計	8		1275		465		282		2030	

1-142. 知っていた施設は使用期限が「融解後3時間以内」であることにより、輸血医療が難しかった(例:使用中または使用開始時に融解後3時間を超えてしまった、他の治療が遅れたなど)ことがあるか 《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	79	6.72%	81	18.04%	84	31.11%	244	12.83%
2	ない	8	100.00%	1096	93.28%	368	81.96%	186	68.89%	1658	87.17%
	回答施設合計	8		1175		449		270		1902	

「ある」場合、具体的な状況を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-142 具体的な状況.xlsx を参照

1-143. 使用時点で融解後3時間を超えてしまった場合の対応

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	廃棄した	0	0.00%	66	20.37%	59	28.37%	76	44.19%	201	28.51%
2	そのまま使用した	0	0.00%	34	10.49%	40	19.23%	32	18.60%	106	15.04%
3	病棟で融解しているため不明	0	0.00%	79	24.38%	40	19.23%	25	14.53%	144	20.43%
4	該当事例なし	1	100.00%	137	42.28%	64	30.77%	25	14.53%	227	32.20%
5	その他	0	0.00%	8	2.47%	5	2.40%	14	8.14%	27	3.83%
	回答施設合計	1		324		208		172		705	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-143 その他詳細.xlsx を参照

19) 高カリウム血症の予防について

1-144. カリウム吸収フィルターの院内在庫の有無について

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	27	6.78%	371	11.27%	203	43.47%	205	71.18%	806	18.13%
2	ない	371	93.22%	2921	88.73%	264	56.53%	83	28.82%	3639	81.87%
	回答施設合計	398		3292		467		288		4445	

1-145. 輸血後の高カリウム血症を予防するために診療科への注意喚起以外に特別な対策をしていますか 複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	診療科への注意喚起以外に特別な対策をしていない	5	55.56%	516	41.95%	128	28.44%	54	19.08%	703	35.65%
2	照射直後の日赤血供給を依頼する	0	0.00%	269	21.87%	134	29.78%	108	38.16%	511	25.91%
3	院内で使用直前に照射する	0	0.00%	13	1.06%	14	3.11%	58	20.49%	85	4.31%
4	カリウム除去フィルターを使用する	0	0.00%	167	13.58%	159	35.33%	161	56.89%	487	24.70%
5	何も対応せず、診療科への注意喚起も行っていない	4	44.44%	340	27.64%	98	21.78%	31	10.95%	473	23.99%
6	その他	0	0.00%	64	5.20%	20	4.44%	30	10.60%	114	5.78%
	回答施設合計	9		1230		450		283		1972	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-145 その他詳細.xlsx を参照

1-146. 問 1-145 で「(2),(3),(4),(6)」と回答された施設にお尋ねいたします。どのような疾患に輸血後の高カリウム血症対策を行なっていますか 複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	すべての疾患			53	12.53%	19	7.79%	5	2.31%	77	8.72%
2	新生児の輸血			32	7.57%	82	33.61%	160	74.07%	274	31.03%
3	腎不全患者の輸血			326	77.07%	194	79.51%	163	75.46%	683	77.35%
4	急速大量輸血			63	14.89%	59	24.18%	65	30.09%	187	21.18%
5	心臓手術の輸血			18	4.26%	22	9.02%	54	25.00%	94	10.65%
6	その他			46	10.87%	19	7.79%	24	11.11%	89	10.08%
	回答施設合計			423		244		216		883	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-146 その他詳細.xlsx を参照

1-147. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に輸血後高カリウム血症の発生報告がありましたか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	5	0.40%	2	0.44%	2	0.73%	9	0.46%
2	いいえ	9	100.00%	1231	99.60%	452	99.56%	273	99.27%	1965	99.54%
	回答施設合計	9		1236		454		275		1974	

1-148. 問 1-147 で「(1)はい」と回答された施設にお尋ねします。輸血後高カリウム血症の発生件数とその中の心停止症例は

《100床以上対象設問》

輸血後高カリウム血症の発生件数とその中の心停止症例							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 輸血後高カリウム血症の発生件数	0床						
	1～299床	4	1	20	5.75	23	9.50
	300～499床	1	1	1	1.00	1	
	500床以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	6	1	20	4.17	25	7.76
(2) 輸血後高カリウム血症総数中の心停止症例件数	0床						
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体						

20) 外来輸血マニュアルについて

1-149. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、外来にて輸血をおこないましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	295	70.91%	1633	47.90%	402	83.06%	272	94.12%	2602	56.59%
2	いいえ	121	29.09%	1776	52.10%	82	16.94%	17	5.88%	1996	43.41%
	回答施設合計	416		3409		484		289		4598	

1-150. 外来にて輸血する際のマニュアルは作成していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作成している	182	63.64%	1007	64.10%	285	73.26%	201	76.72%	1675	66.79%
2	作成する予定である	49	17.13%	222	14.13%	34	8.74%	18	6.87%	323	12.88%
3	作成する予定はない	55	19.23%	342	21.77%	70	17.99%	43	16.41%	510	20.33%
	回答施設合計	286		1571		389		262		2508	

1-151. 外来にて輸血し離院後に副作用が発現した場合の対応法について決めてありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	注意事項や連絡先が記載されたパンフレットなどを手渡している	51	17.83%	190	12.25%	44	11.70%	37	14.34%	322	13.03%
2	「輸血手帳」を作成し、輸血に関する情報提供と連絡方法などを記載している	2	0.70%	10	0.64%	2	0.53%	3	1.16%	17	0.69%
3	副作用発症時には病院に連絡するように口頭で説明している	203	70.98%	1018	65.64%	228	60.64%	153	59.30%	1602	64.83%
4	特に決めていない	30	10.49%	333	21.47%	102	27.13%	65	25.19%	530	21.45%
	回答施設合計	286		1551		376		258		2471	

21) 病院外(介護施設・在宅)輸血について

1-152. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、病院外(介護施設・在宅)で輸血を行いましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いいえ	355	85.54%	3380	98.48%	477	98.96%	284	98.95%	4496	97.40%
2	関連病院と連携して介護施設・在宅両方で実施した	4	0.96%	6	0.17%	0	0.00%	0	0.00%	10	0.22%
3	関連病院と連携して介護施設で実施した	4	0.96%	17	0.50%	0	0.00%	0	0.00%	21	0.45%
4	関連病院と連携して在宅で実施した	18	4.34%	17	0.50%	3	0.62%	2	0.70%	40	0.87%
5	関連病院と連携なく介護施設・在宅両方で実施した	2	0.48%	1	0.03%	0	0.00%	0	0.00%	3	0.06%
6	関連病院と連携なく介護施設で実施した	5	1.20%	3	0.09%	0	0.00%	0	0.00%	8	0.17%
7	関連病院と連携なく在宅で実施した	27	6.51%	8	0.23%	2	0.41%	1	0.35%	38	0.82%
	回答施設合計	415		3432		482		287		4616	

1-153. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)に行った病院外(介護施設・在宅)輸血の延べ件数は

《全施設対象設問》

病院外(介護施設・在宅)輸血の件数 (件)							
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 赤血球製剤	0 床	55	1	390	15.78	868	53.01
	1～299 床	46	1	75	5.59	257	10.96
	300～499 床	2	1	1	1.00	2	0.00
	500 床以上	3	2	26	10.00	30	13.86
	全体	106	1	390	10.92	1157	39.08
(2) 血小板製剤	0 床	9	1	68	17.33	156	21.46
	1～299 床	3	2	8	4.33	13	3.21
	300～499 床	1	3	3	3.00	3	
	500 床以上						
	全体	13	1	68	13.23	172	18.70
(3) 血漿製剤	0 床	3	2	8	4.00	12	3.46
	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床						
	500 床以上						
	全体	4	1	8	3.25	13	3.20

1-154. 病院外(介護施設・在宅)輸血を行う場合に交差適合試験を実施していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自院で必ず行っている	6	10.53%	29	59.18%	5	100.00%	2	66.67%	42	36.84%
2	院外の検査センターで必ず行っている	47	82.46%	15	30.61%	0	0.00%	0	0.00%	62	54.39%
3	関連病院で必ず行っている	2	3.51%	3	6.12%	0	0.00%	1	33.33%	6	5.26%
4	自院、院外の検査センターもしくは関連病院で必ず行っている	1	1.75%	1	2.04%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.75%
5	症例によって実施したりしなかったりする	0	0.00%	1	2.04%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.88%
6	実施していない	1	1.75%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.88%
	回答施設合計	57		49		5		3		114	

1-155. 病院外(介護施設・在宅)輸血後の患者観察(5分後、15分後)は行っていますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同様に行っている	46	82.14%	40	83.33%	4	80.00%	1	50.00%	91	81.98%
2	不十分ながら担当者が行っている	10	17.86%	8	16.67%	1	20.00%	1	50.00%	20	18.02%
3	ほとんど行っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	56		48		5		2		111	

1-156. 病院外(介護施設・在宅)輸血後の副作用発症時の対応策は決めていますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同様に行っている	26	46.43%	29	60.42%	3	60.00%	0	0.00%	58	51.79%
2	連絡をもらい適切な処置をとるようになっている	20	35.71%	10	20.83%	0	0.00%	1	33.33%	31	27.68%
3	関連病院と連携をとり適切な処置を取るようになっている	4	7.14%	4	8.33%	0	0.00%	1	33.33%	9	8.04%
4	特に決めていない	6	10.71%	5	10.42%	2	40.00%	1	33.33%	14	12.50%
	回答施設合計	56		48		5		3		112	

22) 大量出血時の輸血について

1-157. 2014年1月~2014年12月の期間で大量出血のため1日につきRCCまたはRBC、10単位以上輸血した症例はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	3	0.72%	395	11.47%	332	69.60%	263	92.61%	993	21.48%
2	いいえ	414	99.28%	3050	88.53%	145	30.40%	21	7.39%	3630	78.52%
	回答施設合計	417		3445		477		284		4623	

1-158. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して**新鮮凍結血漿**を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	331	84.44%	325	98.48%	260	100.00%	916	92.81%
2	いいえ	5	100.00%	61	15.56%	5	1.52%	0	0.00%	71	7.19%
	回答施設合計	5		392		330		260		987	

1-159. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して**クリオプレシテート**を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	8	2.22%	10	3.36%	26	10.36%	44	4.81%
2	いいえ	5	100.00%	352	97.78%	288	96.64%	225	89.64%	870	95.19%
	回答施設合計	5		360		298		251		914	

1-160. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して**フィブリノゲン濃縮製剤**を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	38	10.83%	34	12.10%	52	22.13%	124	14.22%
2	いいえ	5	100.00%	313	89.17%	247	87.90%	183	77.87%	748	85.78%
	回答施設合計	5		351		281		235		872	

1-161. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して使用可能なら**クリオプレシテート**と**フィブリノゲン濃縮製剤**のどちらが良いとおもいますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	クリオプレシテート	0	0.00%	37	12.89%	31	13.30%	34	16.35%	102	13.97%
2	フィブリノゲン濃縮製剤	1	50.00%	61	21.25%	108	46.35%	112	53.85%	282	38.63%
3	どちらでも良い	1	50.00%	189	65.85%	94	40.34%	62	29.81%	346	47.40%
	回答施設合計	2		287		233		208		730	

1-162. RCC または RBC、10 単位以上使用した症例のうちクリオ・フィブリノゲン製剤の適応と考えられた症例がありましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	65	23.55%	109	52.15%	147	76.17%	321	47.14%
2	なかった	3	100.00%	211	76.45%	100	47.85%	46	23.83%	360	52.86%
	回答施設合計	3		276		209		193		681	

23) 自己血製剤使用の実績について

1-163. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、自己血(貯血式・希釈式・回収式)を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	4	0.88%	956	27.15%	416	86.49%	271	93.13%	1647	34.68%
2	いいえ	452	99.12%	2565	72.85%	65	13.51%	20	6.87%	3102	65.32%
	回答施設合計	456		3521		481		291		4749	

1-164. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、貯血式自己血を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	66.67%	906	95.77%	412	99.28%	271	100.00%	1591	97.31%
2	いいえ	1	33.33%	40	4.23%	3	0.72%	0	0.00%	44	2.69%
	回答施設合計	3		946		415		271		1635	

1-165. 過去1年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)の貯血式自己血採血の症例数(実患者数)は

《全施設対象設問》

貯血式自己血採血の症例数(人)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0 床						
1～299 床	879	1	1000	34.13	29998	63.43
300～499 床	389	1	544	65.32	25408	72.45
500 床以上	255	2	1010	173.64	44279	147.53
全体	1523	1	1010	65.45	99685	99.09

1-166. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)の貯血式自己血採血の総件数は

《全施設対象設問》

貯血式自己血輸血採血の総件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	881	1	900	53.00	46695	96.51
300～499床	395	1	1303	113.82	44957	135.85
500床以上	260	4	1246	293.90	76413	233.45
全体	1536	1	1303	109.42	168065	163.92

1-167. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で使用した、貯血式自己血の使用総袋(本)数を記入してください。

《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)貯血式自己血(200mL)使用総袋(本)数	0床						
	1～299床	317	1	258	14.01	4442	28.80
	300～499床	225	1	602	22.03	4957	65.09
	500床以上	224	1	328	26.96	6039	40.86
	全体	766	1	602	20.15	15438	45.83
(2)貯血式自己血(400mL)使用総袋(本)数	0床						
	1～299床	850	1	1102	46.49	39513	89.71
	300～499床	398	1	942	90.15	35881	108.46
	500床以上	262	2	933	214.34	56158	176.22
	全体	1510	1	1102	87.12	131552	129.37

1-168. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、使用せずに廃棄した貯血式自己血はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	516	57.91%	354	86.55%	264	98.51%	1134	72.28%
2	ない	1	100.00%	375	42.09%	55	13.45%	4	1.49%	435	27.72%
	回答施設合計	1		891		409		268		1569	

1-169. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で廃棄した、貯血式自己血の総袋(本)数を記入してください。

《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)貯血式自己血(200mL)廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	135	1	257	7.26	980	25.95
	300～499 床	130	1	34	3.76	489	5.20
	500 床以上	161	1	128	9.68	1558	17.65
	全体	426	1	257	7.11	3027	18.54
(2)貯血式自己血(400mL)廃棄総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	482	1	500	11.41	5502	31.57
	300～499 床	332	1	153	19.59	6504	26.80
	500 床以上	249	1	438	55.94	13929	66.44
	全体	1063	1	500	24.40	25935	44.98

【特別集計：貯血式自己血の使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
貯血式自己血の 使用総単位数	0 床						
	1～299 床	877	1	2224	95.17	83468	183.91
	300～499 床	404	1	2060	189.90	76719	232.77
	500 床以上	262	4	1888	451.74	118355	361.67
	全体	1543	1	2224	180.52	278542	268.66
貯血式自己血の 使用総袋(本)	0 床						
	1～299 床	877	1	1122	50.12	43955	96.02
	300～499 床	404	1	1251	101.08	40838	128.92
	500 床以上	262	2	955	237.39	62197	187.37
	全体	1543	1	1251	95.26	146990	141.86

【特別集計：貯血式自己血の廃棄総単位数と総袋（本）数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血の 廃棄総単位数	0床						
	1～299床	509	1	1000	23.54	11984	63.55
	300～499床	341	1	306	39.58	13497	54.16
	500床以上	251	2	885	117.20	29416	136.87
	全体	1101	1	1000	49.86	54897	91.74
貯血式自己血の 廃棄総袋(本)	0床						
	1～299床	509	1	500	12.73	6482	34.10
	300～499床	341	1	153	20.51	6993	27.65
	500床以上	251	1	447	61.70	15487	71.22
	全体	1101	1	500	26.31	28962	48.04

【特別集計：病床数あたりの貯血式自己血製剤使用量】

病床数あたりの製剤別血液製剤使用量（単位） （計算式：製剤別血液製剤使用量÷病床数）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 貯血式自己血 ／単位	1～299床	877	0.0067	29.2632	1.0681	936.7206	2.6619
	300～499床	404	0.0026	6.4984	0.4948	199.8822	0.6238
	500床以上	262	0.0080	2.5928	0.6404	167.7843	0.4738
	全体	1543	0.0026	29.2632	0.8454	1304.3871	2.0573

1-170. 自己フィブリン糊を作成していますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作成している	0	0.00%	4	0.46%	11	2.79%	33	12.69%	48	3.15%
2	いいえ（将来作成予定）	1	100.00%	116	13.38%	63	15.99%	58	22.31%	238	15.64%
3	いいえ（今後も作成する予定がない）	0	0.00%	747	86.16%	320	81.22%	169	65.00%	1236	81.21%
	回答施設合計	1		867		394		260		1522	

1-171. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)貯血式自己血輸血の実績(実際に輸血されたもの)

《全施設対象設問》

貯血式自己血輸血の実績 (単位)							
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 全血/単位	0床						
	1～299床	695	1	1921	89.64	62298	171.17
	300～499床	357	1	1918	177.04	63203	217.62
	500床以上	233	1	1439	374.08	87161	315.50
	全体	1285	1	1921	165.50	212662	240.83
(2) MAP/単位	0床						
	1～299床	83	2	873	75.48	6265	135.92
	300～499床	28	2	935	135.57	3796	209.05
	500床以上	63	2	1508	292.46	18425	349.71
	全体	174	2	1508	163.71	28486	263.26
(3) FFP/単位	0床						
	1～299床	30	1	762	68.10	2043	144.82
	300～499床	20	2	897	132.40	2648	239.74
	500床以上	64	2	1067	230.28	14738	251.85
	全体	114	1	1067	170.43	19429	235.53
(4) フィブリン糊 /単位	0床						
	1～299床	4	2	452	131.75	527	214.71
	300～499床	11	5	184	40.64	447	52.92
	500床以上	27	1	1644	204.37	5518	328.32
	全体	42	1	1644	154.57	6492	278.53
(5) 血小板糊/単位	0床						
	1～299床	1	6	6	6.00	6	
	300～499床	2	1	62	31.50	63	43.13
	500床以上	3	1	95	32.67	98	53.98
	全体	6	1	95	27.83	167	40.65

1-172. 静脈穿刺しているのは誰ですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師（医師は歯科医師を含む）			368	41.49%	205	50.74%	170	64.15%	743	47.75%
2	看護師			371	41.83%	110	27.23%	41	15.47%	522	33.55%
3	医師及び看護師			146	16.46%	89	22.03%	54	20.38%	289	18.57%
4	臨床検査技師			1	0.11%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.06%
5	その他			1	0.11%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.06%
	回答施設合計			887		404		265		1556	

1-173. 問 1-172 で(1)又は(3)の場合、静脈穿刺している医師は

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の医師			7	1.38%	7	2.40%	33	14.86%	47	4.61%
2	担当医			472	93.28%	272	93.15%	151	68.02%	895	87.75%
3	輸血部門の医師および担当医			11	2.17%	5	1.71%	30	13.51%	46	4.51%
4	その他			16	3.16%	8	2.74%	8	3.60%	32	3.14%
	回答施設合計			506		292		222		1020	

1-174. 問 1-172 で(2)又は(3)の場合、静脈穿刺している看護師は

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自己血採血専任の看護師			18	3.59%	23	11.62%	27	29.03%	68	8.59%
2	非常勤の看護師			15	2.99%	14	7.07%	9	9.68%	38	4.80%
3	その他の看護業務と兼任の看護師			488	97.41%	176	88.89%	68	73.12%	732	92.42%
4	看護師はいない			4	0.80%	1	0.51%	2	2.15%	7	0.88%
	回答施設合計			501		198		93		792	

1-175. 学会認定・自己血輸血看護師制度について

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	現在申請中			4	0.69%	4	1.05%	5	1.96%	13	1.07%
2	将来取得したいと思っている			79	13.62%	83	21.78%	61	23.92%	223	18.34%
3	知ってるが制度の詳細がよくわからない			83	14.31%	38	9.97%	12	4.71%	133	10.94%
4	今後の状況を見て判断する			356	61.38%	228	59.84%	111	43.53%	695	57.15%
5	関心がない			36	6.21%	18	4.72%	7	2.75%	61	5.02%
6	知らなかったので調べてみる			43	7.41%	10	2.62%	1	0.39%	54	4.44%
7	自己血輸血学会認定・自己血輸血看護師がいる			31	5.34%	48	12.60%	79	30.98%	158	12.99%
	回答施設合計			580		381		255		1216	

1-176. 貯血式自己血の保管管理されている場所はどこですか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門			85	9.57%	144	35.29%	198	74.44%	427	27.34%
2	薬剤部			73	8.22%	6	1.47%	1	0.38%	80	5.12%
3	検査室			616	69.37%	255	62.50%	65	24.44%	936	59.92%
4	病棟			72	8.11%	0	0.00%	0	0.00%	72	4.61%
5	外来			12	1.35%	3	0.74%	1	0.38%	16	1.02%
6	日赤血液センター			14	1.58%	0	0.00%	0	0.00%	14	0.90%
7	その他			16	1.80%	0	0.00%	1	0.38%	17	1.09%
	回答施設合計			888		408		266		1562	

1-177. 自己血輸血使用時に検査として何を実施していますか 複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	A B O 型確認のみ			296	33.56%	190	46.68%	133	49.63%	619	39.76%
2	交差適合試験			107	12.13%	65	15.97%	41	15.30%	213	13.68%
3	A B O 型確認と交差適合試験			316	35.83%	132	32.43%	84	31.34%	532	34.17%
4	コンピュータークロスマッチ			45	5.10%	59	14.50%	58	21.64%	162	10.40%
5	未検査			160	18.14%	17	4.18%	3	1.12%	180	11.56%
6	その他			19	2.15%	13	3.19%	5	1.87%	37	2.38%
	回答施設合計			882		407		268		1557	

1-178. 自己血輸血に関するマニュアルはありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい			811	92.16%	401	98.28%	259	97.74%	1471	94.72%
2	いいえ			69	7.84%	7	1.72%	6	2.26%	82	5.28%
	回答施設合計			880		408		265		1553	

1-179 血管迷走神経反射(VVR)に関するマニュアルはありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
	はい			492	57.34%	293	75.13%	222	86.72%	1007	66.95%
2	いいえ			366	42.66%	97	24.87%	34	13.28%	497	33.05%
	回答施設合計			858		390		256		1504	

1-180. 輸血部門として自己血関連業務で関わっているものはありますか

複数回答

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自己血採取場所の確保			90	10.54%	45	11.03%	116	43.61%	251	16.43%
2	自己血採取の手伝い			252	29.51%	134	32.84%	128	48.12%	514	33.64%
3	自己血採取の備品管理			366	42.86%	222	54.41%	201	75.56%	789	51.64%
4	自己血の保管管理			749	87.70%	398	97.55%	266	100.00%	1413	92.47%
5	自己血の外観検査			554	64.87%	349	85.54%	244	91.73%	1147	75.07%
6	自己血の容量確認			388	45.43%	241	59.07%	202	75.94%	831	54.38%
7	自己血輸血の副作用の管理			401	46.96%	327	80.15%	240	90.23%	968	63.35%
8	関わっていない			75	8.78%	4	0.98%	116	43.61%	79	5.17%
	回答施設合計			854		408		266		1528	

1-181. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に血管迷走神経反射(VVR)を経験しましたか

《全施設対象設問》

血管迷走神経反射 (VVR) I度の発生件数/年						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	67	1	10	2.08	139	1.85
300～499床	48	1	8	2.10	101	1.57
500床以上	93	1	31	3.76	350	4.08
全体	208	1	31	2.84	590	3.12
血管迷走神経反射 (VVR) II度の発生件数/年						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	8	1	1	1.00	8	0.00
300～499床	8	1	2	1.13	9	0.35
500床以上	20	1	2	1.05	21	0.22
全体	36	1	2	1.06	38	0.23
血管迷走神経反射 (VVR) III度の発生件数/年						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床						
300～499床	2	2	3	2.50	5	0.71
500床以上	5	1	2	1.20	6	0.45
全体	7	1	3	1.57	11	0.79

1-182. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)で、希釈式自己血を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	32	3.59%	37	9.92%	75	33.48%	144	9.66%
2	いいえ	1	100.00%	860	96.41%	336	90.08%	149	66.52%	1346	90.34%
	回答施設合計	1		892		373		224		1490	

1-183. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、希釈式自己血の使用総袋(本)数を記入してください。

《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1)希釈式自己血(200mL)使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	10	1	175	20.10	201	54.48
	300～499 床	8	1	21	9.34	75	9.21
	500 床以上	18	1	79	10.39	187	18.71
	全体	36	1	175	12.86	463	31.16
(2)希釈式自己血(400mL)使用総袋(本)数	0 床						
	1～299 床	27	1	116	15.74	425	25.35
	300～499 床	30	1	71	19.20	576	23.37
	500 床以上	57	1	524	38.58	2199	84.56
	全体	114	1	524	28.07	3200	62.81

【特別集計：希釈式自己血の使用総単位数と総袋（本）数】

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
希釈式自己血の 使用総単位数	0 床						
	1～299 床	31	1	234	33.90	1051	55.01
	300～499 床	30	2	143	40.90	1227	47.21
	500 床以上	57	2	1052	80.44	4585	174.40
	全体	118	1	1052	58.16	6863	127.91
希釈式自己血の 使用総袋(本)	0 床						
	1～299 床	31	1	175	20.19	626	37.66
	300～499 床	30	1	78	21.70	651	24.24
	500 床以上	57	1	528	41.86	2386	90.12
	全体	118	1	528	31.04	3663	67.14

1-184. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、回収式自己血を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	205	23.73%	160	43.13%	169	75.45%	534	36.58%
2	いいえ	1	100.00%	659	76.27%	211	56.87%	55	24.55%	926	63.42%
	回答施設合計	1		864		371		224		1460	

1-185. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、回収式自己血の使用総量を記入してください。

《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
回収式自己血の 使用総量(ml)	0 床					
	1～299 床	152	3	570000	21222.66	58419.55
	300～499 床	88	43	940642	57961.32	124205.71
	500 床以上	84	1360	590210	92489.07	103619.13
	全体	324	3	940642	49677.54	96882.13

24) 血漿分画製剤の使用実績について

1-186. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、血漿分画製剤を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	115	25.22%	2474	70.95%	454	96.60%	278	97.54%	3321	70.69%
2	いいえ	341	74.78%	1013	29.05%	16	3.40%	7	2.46%	1377	29.31%
	回答施設合計	456		3487		470		285		4698	

1-187. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、等張(5%)アルブミン製剤(加熱人血漿たん白を除く)を使用しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	10	9.01%	745	31.08%	333	74.33%	257	93.45%	1345	41.63%
2	いいえ	101	90.99%	1652	68.92%	115	25.67%	18	6.55%	1886	58.37%
	回答施設合計	111		2397		448		275		3231	

1-188. 問 1-187 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、等張(5%)アルブミン製剤(加熱人血漿たん白を除く)の総使用量をg数に換算して記入してください。 《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
等張(5%)アルブミン製剤(加熱人血漿たん白を除く)を使用総g数	0床	8	22.0	950.0	215.25	1722.0	306.95
	1～299床	716	0.1	13462.5	1090.65	780906.1	1839.01
	300～499床	317	12.5	266125.0	5941.20	1883361.2	16136.95
	500床以上	249	200	134878.0	18472.86	4599742.2	18003.58
	全体	1290	0.1	266125.0	5632.35	7265731.5	13099.20

1-189. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに廃棄した等張(5%)アルブミン製剤(加熱人血漿たん白を除く)はありますか 《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	72	9.61%	67	21.34%	100	41.67%	239	18.19%
2	ない	11	100.00%	677	90.39%	247	78.66%	140	58.33%	1075	81.81%
	回答施設合計	11		749		314		240		1314	

1-190. 問 1-189 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で廃棄した、等張(5%)アルブミン製剤(加熱人血漿たん白を除く)の総廃棄量をg数に換算して記入してください。 《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
等張(5%)アルブミン製剤(加熱人血漿たん白を除く)の廃棄総g数	0床						
	1～299床	68	11.0	910.0	56.11	3815.5	137.01
	300～499床	65	7.5	2912.5	74.02	4811.0	362.15
	500床以上	97	5.0	672.7	44.59	4324.9	71.74
	全体	230	5.0	2912.5	56.31	12951.4	210.83

1-191. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、高張アルブミン製剤(20%)を使用しましたか 《全施設対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	19	17.76%	575	24.07%	160	36.53%	149	54.98%	903	28.17%
2	いいえ	88	82.24%	1814	75.93%	278	63.47%	122	45.02%	2302	71.83%
	回答施設合計	107		2389		438		271		3205	

1-192. 問 1-191 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、高張アルブミン製剤(20%)の**総使用量**をg数に換算して記入してください。
 《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
高張アルブミン製剤 (20%)使用総g数	0 床	17	10.0	1140.0	214.29	3643.0	285.56
	1～299 床	548	0.1	16650.0	1500.30	822162.3	2084.04
	300～499 床	149	8.0	22072.0	5626.38	838330.9	5183.96
	500 床以上	143	4.0	64640.0	12072.47	1726362.5	13713.11
	全体	857	0.1	64640.0	3956.24	3390498.7	7365.32

1-193. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した高張アルブミン製剤(20%)はありますか
 《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	32	5.67%	19	12.84%	33	23.57%	84	9.66%
2	ない	18	100.00%	532	94.33%	129	87.16%	107	76.43%	786	90.34%
	回答施設合計	18		564		148		140		870	

1-194. 問 1-193 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で廃棄した、高張アルブミン製剤(20%)の**総廃棄量**をg数に換算して記入してください。
 《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
高張アルブミン製剤 (20%)廃棄総g数	0 床						
	1～299 床	28	0.2	4150.0	219.48	6145.4	787.59
	300～499 床	19	4.0	5662.5	321.71	6112.5	1293.58
	500 床以上	33	4.0	140.0	22.08	728.8	25.11
	全体	80	0.2	5662.5	162.33	12986.7	780.39

1-195. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、高張アルブミン製剤(25%)を**使用**しましたか
 《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	75	67.57%	1696	70.23%	320	72.40%	207	76.10%	2298	70.93%
2	いいえ	36	32.43%	719	29.77%	122	27.60%	65	23.90%	942	29.07%
	回答施設合計	111		2415		442		272		3240	

1-196. 問 1-195 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、高張アルブミン製剤(25%)の**総使用量**をg数に換算して記入してください
《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
高張アルブミン製剤 (25%)使用総g数	0 床	70	8.3	5950.0	429.97	30097.7	852.47
	1～299 床	1627	0.1	236925.0	2131.09	3467290.0	6654.28
	300～499 床	309	25.0	228125.0	9850.21	3043716.2	16428.22
	500 床以上	203	20.0	200875.0	25400.73	5156347.6	26063.61
	全体	2209	0.1	236925.0	5295.36	11697451.5	13439.52

1-197. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した高張アルブミン製剤(25%)はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	2.70%	73	4.41%	38	12.58%	70	35.53%	183	8.21%
2	ない	72	97.30%	1582	95.59%	264	87.42%	127	64.47%	2045	91.79%
	回答施設合計	74		1655		302		197		2228	

1-198. 問 1-197 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で廃棄した、高張アルブミン製剤(25%)の**総廃棄量**をg数に換算して記入してください。

《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
高張アルブミン製剤 (25%)廃棄総g数	0 床	2	37.5	37.5	37.50	75.0	0.00
	1～299 床	69	5.0	500.0	34.96	2412.5	67.91
	300～499 床	36	5.0	150.0	27.29	982.5	25.82
	500 床以上	69	3.7	212.5	34.52	2382.0	37.21
	全体	176	3.7	500.0	33.25	5852.0	49.73

1-199. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、加熱人血漿蛋白を**使用**しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	1.83%	248	10.50%	56	13.53%	30	11.81%	336	10.71%
2	いいえ	107	98.17%	2113	89.50%	358	86.47%	224	88.19%	2802	89.29%
	回答施設合計	109		2361		414		254		3138	

1-200. 問 1-199 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、加熱人血漿蛋白の**総使用量**をg数に換算して記入してください。

《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
加熱人血漿蛋白 使用総量(g)	0 床	1	52.8	52.8	52.80	52.8	
	1～299 床	242	4.4	6897.0	554.20	134116.7	944.32
	300～499 床	55	37.6	11836.0	2045.05	112477.6	2213.88
	500 床以上	29	7.0	78661.0	7109.26	206168.5	15519.81
	全体	327	4.4	78661.0	1384.76	452815.6	5066.07

1-201. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した加熱人血漿蛋白はありますか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			38	15.14%	6	10.71%	4	14.29%	48	14.33%
2	ない			213	84.86%	50	89.29%	24	85.71%	287	85.67%
	回答施設合計			251		56		28		335	

1-202. 問 1-201 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で廃棄した、加熱人血漿蛋白の**総廃棄量**をg数に換算して記入してください。

《全施設対象設問》

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
加熱人血漿蛋白、 の総廃棄量(g)	0 床						
	1～299 床	36	11.0	121.0	25.34	912.3	24.63
	300～499 床	6	11.0	22.0	13.08	78.5	4.41
	500 床以上	4	11.0	55.0	24.75	99.0	20.82
	全体	46	11.0	121.0	23.69	1089.8	22.81

1-203. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、免疫グロブリン製剤を**使用**しましたか

《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	11	10.19%	1375	57.77%	357	87.29%	238	95.20%	1981	62.95%
2	いいえ	97	89.81%	1005	42.23%	52	12.71%	12	4.80%	1166	37.05%
	回答施設合計	108		2380		409		250		3147	

1-204. 問 1-203 で「(1)、はい」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で使用した、免疫グロブリン製剤の**総使用量**をg数に換算して記入してください。
 《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
免疫グロブリン製剤 使用総量(g)	0 床	10	0.4	300.0	78.24	782.4	106.09
	1～299 床	1323	0.3	13620.0	348.25	460734.4	810.77
	300～499 床	334	12.5	24325.0	1913.42	639083.8	2417.63
	500 床以上	213	7.5	77992.5	7815.76	1664755.9	8211.02
	全体	1880	0.3	77992.5	1470.93	2765356.5	3821.12

1-205. 過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で、使用せずに**廃棄**した免疫グロブリン製剤はありますか
 《全施設対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	72	5.34%	39	11.50%	66	30.70%	177	9.25%
2	ない	12	100.00%	1276	94.66%	300	88.50%	149	69.30%	1737	90.75%
	回答施設合計	12		1348		339		215		1914	

1-206. 問 1-205 で「(1)、ある」の場合、過去 1 年間(2014 年 1 月～2014 年 12 月)で廃棄した、免疫グロブリン製剤の**総廃棄量**をg数に換算して記入してください。
 《全施設対象設問》

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
免疫グロブリン製剤、 の総廃棄量(g)	0 床						
	1～299 床	66	0.5	30.0	8.65	571.0	6.87
	300～499 床	39	0.5	21.0	5.36	208.9	5.13
	500 床以上	64	0.5	35.0	9.42	602.8	8.51
	全体	169	0.5	35.0	8.18	1382.7	7.34

【特別集計：病床数あたりの血漿分画製剤使用量】

病床数あたりの製剤別血漿分画製剤使用量 (g) (計算式：製剤別血液製剤使用量÷病床数)							
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 等張アルブミン製剤 (5%)	1～299 床	716	0.0021	300.0000	9.0914	6509.4348	22.4911
	300～499 床	317	0.0417	613.1912	15.0105	4758.3288	37.8722
	500 床以上	249	0.3854	224.7967	25.3666	6316.2918	23.2106
	全体	1282	0.0021	613.1912	13.7161	17584.0554	27.9144
(2) 高張アルブミン製剤 (20%)	1～299 床	548	0.0009	355.5556	13.6713	7491.8649	25.0778
	300～499 床	149	0.0177	58.6129	14.7417	2196.5158	13.3695
	500 床以上	143	0.0063	102.1835	17.2975	2473.5373	18.5566
	全体	840	0.0009	355.5556	14.4785	12161.9180	22.3969
(3) 高張アルブミン製剤 (25%)	1～299 床	1627	0.0019	2369.2500	22.4897	36590.6705	75.9444
	300～499 床	309	0.0817	760.4167	26.6603	8238.0315	49.8450
	500 床以上	203	0.0274	308.5637	34.9036	7085.4356	34.5822
	全体	2139	0.0019	2369.2500	24.2703	51914.1376	69.7943
(4) 加熱人血漿蛋白	1～299 床	242	0.0444	95.7805	4.7697	1154.2731	10.4603
	300～499 床	55	0.0989	29.5900	5.5940	307.6725	5.8347
	500 床以上	29	0.0094	100.2051	10.3632	300.5318	20.5440
	全体	326	0.0094	100.2051	5.4064	1762.4774	11.2096
(5) 免疫グロブリン製剤	1～299 床	1323	0.0064	394.7368	3.0569	4044.3308	12.4164
	300～499 床	334	0.0296	69.3020	4.9994	1669.8005	6.4428
	500 床以上	213	0.0107	155.9850	10.8686	2315.0113	12.5793
	全体	1870	0.0064	394.7368	4.2937	8029.1426	11.8528

25) 院内同種血採血について

1-207. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に院内同種血全血採血(末梢血幹細胞採取は除きます)を行いましたか

《100床以上対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	8	0.62%	8	1.73%	15	5.26%	31	1.52%
2	いいえ	9	100.00%	1278	99.38%	455	98.27%	270	94.74%	2012	98.48%
	回答施設合計	9		1286		463		285		2043	

1-208. 院内同種血全血採血の単位数・袋数

《100床以上対象設問》

院内同種血全血採血の単位数・袋数 期間：2014年（1月～12月）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 院内同種血全血採血の単位数	0床						
	1～299床	7	8	74	38.71	271	26.64
	300～499床	8	4	151	33.13	265	49.49
	500床以上	4	2	32	14.75	59	12.69
	全体	19	2	151	31.32	595	36.05
(2) 院内同種血全血採血の袋数	0床						
	1～299床	7	4	39	20.57	144	13.50
	300～499床	8	3	87	19.00	152	28.22
	500床以上	6	1	31	12.33	74	10.54
	全体	21	1	87	17.62	370	19.32

1-209. 院内調製顆粒球の使用件数

《100 床以上対象設問》

院内調整顆粒球の使用件数 期間：2014 年（1 月～12 月）							
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 全血由来件数	0 床						
	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床						
	500 床以上	6	1	9	3.17	19	2.93
	全体	7	1	9	2.86	20	2.79
(2) アフェレーシス由来件数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	6	1	29	10.50	63	9.77
	全体	6	1	29	10.50	63	9.77

1-210. 院内調製顆粒球の使用量について処理した原血液量を記載してください。*全血 200ml を 1 単位と換算して単位数を記入してください。《100 床以上対象設問》

院内調製顆粒球の使用量について処理した原血液量 期間：2014 年（1 月～12 月）							
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
(1) 全血由来単位数	0 床						
	1～299 床	1	1	1	1.00	1	
	300～499 床						
	500 床以上	5	2	15	7.60	38	5.32
	全体	6	1	15	6.50	39	5.47
(2) アフェレーシス由来単位数	0 床						
	1～299 床						
	300～499 床						
	500 床以上	5	10	420	154.00	770	169.85
	全体	5	10	420	154.00	770	169.85

1-211. 院内同種血全血採血を行った理由は

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急時で赤十字血液センターからの赤血球製剤の供給が遅れたため、または在庫がなかったため			5	83.33%	2	28.57%	1	9.09%	8	33.33%
2	緊急時で赤十字血液センターからの血小板製剤の供給が遅れたため、または在庫がなかったため			1	16.67%	4	57.14%	2	18.18%	7	29.17%
3	緊急時で赤十字血液センターからの全血製剤の供給が遅れたため、または在庫がなかったため			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	赤十字血液センターからの「いわゆる新鮮血」の供給がないため			1	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	1	4.17%
5	その他			1	16.67%	1	14.29%	8	72.73%	10	41.67%
	回答施設合計			6		7		11		24	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-211 その他詳細.xlsx を参照

1-212. 過去1年間(2014年1月～2014年12月)に放射線未照射のまま輸血が行なわれた院内採血同種血全血製剤がありましたか

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい			5	62.50%	2	25.00%	1	7.69%	8	27.59%
2	いいえ			3	37.50%	6	75.00%	12	92.31%	21	72.41%
	回答施設合計			8		8		13		29	

1-213. 放射線未照射のまま輸血が行なわれた院内採血同種血全血製剤の単位数・袋数

《100 床以上対象設問》

放射線未照射のまま輸血が行なわれた院内同種血全血採血の単位数・袋数期間：2014 年（1 月～12 月）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 院内同種血全血採血の単位数	0 床						
	1～299 床	4	4	68	29.50	118	29.82
	300～499 床	2	5	46	25.50	51	28.99
	500 床以上	1	2	2	2.00	2	
	全体	7	2	68	24.43	171	26.19
(2) 院内同種血全血採血の袋数	0 床						
	1～299 床	4	2	34	14.75	59	14.91
	300～499 床	2	5	23	14.00	28	12.73
	500 床以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	7	1	34	12.57	88	12.82

1-214. 院内採血同種血全血製剤を院内で照射が行なえなかった理由は

複数回答

《100 床以上対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった			3	60.00%	1	50.00%	0	0.00%	4	50.00%
2	時間外に院内照射を行なう体制がないため			1	20.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%
3	放射線照射装置の故障のため			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他			4	80.00%	1	50.00%	1	100.00%	6	75.00%
	回答施設合計			5		2		1		8	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-214 その他詳細.xlsx を参照

26) 診療所での輸血の実態について(診療所のみ回答)

1-215. 貴院で輸血を実施した患者さんに特別な理由がありますか

複数回答

《診療所対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院まで距離が遠いため	32	8.63%	56	8.08%					88	8.27%
2	身体障害があり通院に支障があるため	57	15.36%	41	5.92%					98	9.21%
3	在宅治療を行っているため	89	23.99%	45	6.49%					134	12.59%
4	終末期医療のため	62	16.71%	127	18.33%					189	17.76%
5	病診連携で病院より依頼されたため	58	15.63%	78	11.26%					136	12.78%
6	患者さんからの希望	73	19.68%	121	17.46%					194	18.23%
7	その他	207	55.80%	440	63.49%					647	60.81%
	回答施設合計	371		693						1064	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-215 その他詳細.xlsx を参照

1-216. 貴院での輸血に関して困っている点がありますか

複数回答

《診療所対象設問》

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	最新の輸血療法の知識を取得する機会がない	154	54.23%	296	52.20%					450	52.88%
2	輸血検査の実施方法や結果の解釈について不安がある	56	19.72%	111	19.58%					167	19.62%
3	血液製剤の管理方法に不備がある	40	14.08%	64	11.29%					104	12.22%
4	輸血の確認・実施方法に不明な点がある	12	4.23%	30	5.29%					42	4.94%
5	輸血副作用発生時の対応が困難である	127	44.72%	195	34.39%					322	37.84%
6	患者(家族)へのインフォームド・コンセントの方法がわからない	7	2.46%	22	3.88%					29	3.41%
7	その他	43	15.14%	121	21.34%					164	19.27%
	回答施設合計	284		567						851	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-216 その他詳細.xlsx を参照

1-217. 地域での輸血に関する勉強会の開催希望はありますか。

《診療所対象設問》

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	強く希望する	49	14.16%	130	18.81%					179	17.26%
2	多少希望する	141	40.75%	310	44.86%					451	43.49%
3	少し希望する	115	33.24%	189	27.35%					304	29.32%
4	全く希望なし	41	11.85%	62	8.97%					103	9.93%
	回答施設合計	346		691						1037	